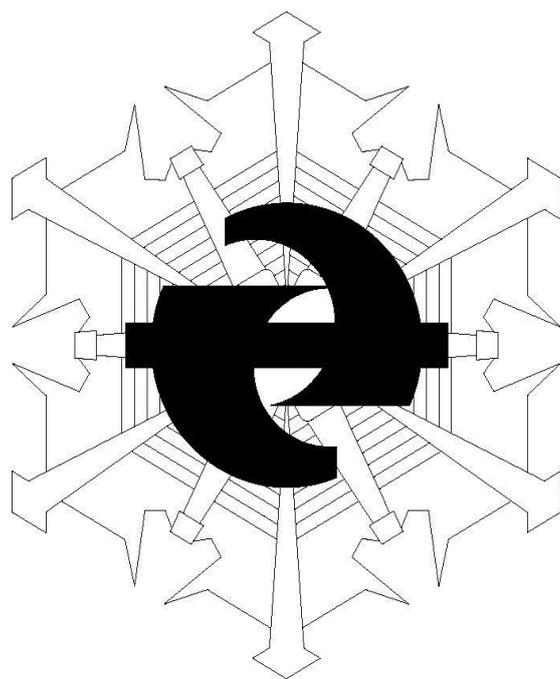


精 華 町
消 防 年 報

令和 2 年度刊行



精華町消防本部

はじめに



精華町消防長 内田 昌輝

この消防年報は、精華町消防本部の現勢及び令和元年中の消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の運用に資するとともに、住民の皆様をはじめ広く一般にご紹介することを目的とし編冊したものです。

精華町では、「活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり」「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」「未来をひらく文化と環境のまちづくり」「自立を目指した協働のまちづくり」の四つの基本方針を掲げており、消防行政において「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」の実現に向けた責任は重大であり、日々、積極的に運営を図っていく所存であります。

住民の皆様をはじめ関係者の皆様におかれましては、消防行政の運営にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月

精華町消防本部

署訓

一、規律厳正

一、拳署一体

一、郷土愛護

重要施策

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 消防力の整備充実
- 3 消防団の充実強化
- 4 情報管理システムの確立
- 5 救急業務の充実
- 6 防火対象物等の安全対策の推進

精華町単独防火標語

「その油断 その横着が 火事を出す」

スローガン

“安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり”

《凡例》

- 1 統計表中、予算関係については会計年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）を、火災・救急・救助関係については暦年（平成31年1月1日～令和元年12月31日）を、その他のものについては当該表に記載した年月日をもって表示しています。
- 2 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数とその内訳の合計が必ずしも一致しない場合があります。
- 3 数字の単位は表中に注記しています。ただし、一見して明らかなものについては省略しています。

目 次

消防本部

《総務編》

1	精華町の概要	1 - 1
2	精華町の位置図	1 - 2
3	精華町消防の沿革(沿革録より抜すい)	1 - 3
4	消防本部の組織及び機構	1 - 8
5	消防本部・署事務分掌	
(1)	消防本部事務分掌	1 - 9
(2)	消防署事務分掌	1 - 11
6	消防の予算	
(1)	一般会計と消防費(当初予算)	1 - 11
(2)	消防費(当初予算)と世帯数及び人口当たりの比較	1 - 12
(3)	令和2年度消防費(当初予算)の内訳	1 - 13
7	消防職員の配置の状況	1 - 14
8	消防職員の年齢の状況	1 - 15

《予防編》

1	防火対象物一覧表	2 - 1
2	消防用設備等の設置の状況	2 - 2
3	製造所等別の許可、完成検査及び廃止届等の状況	2 - 3
4	危険物施設の仮使用、危険物の仮貯蔵及び仮取扱の状況	2 - 3
5	危険物施設の状況	2 - 4

6	自主防災組織等の状況		
(1)	自主防災組織	2	5
(2)	婦人防火クラブ	2	6
(3)	幼年消防クラブ	2	6
(4)	精華町防火委員会	2	7
(5)	消防支援ボランティア	2	7
7	防火指導の状況	2	8

《通信指令編》

1	消防無線の設置の状況	3	1
2	119番通報の状況	3	2
3	病院紹介の状況	3	3
4	気象の状況(精華町消防本部)	3	4
5	気象注意報・警報等の発表の状況(精華町)	3	5

《警防編》

1	消防機械の配置の状況(消防本部・署)	4	1
2	特殊機械器具等の配置の状況	4	2
3	消防水利の現状	4	5

《火災編》

1	火災の概要	5	1
2	月別の火災発生の状況	5	1
3	曜日別、覚知別の火災発生の状況	5	2

4	時間帯別、種別別の火災発生の状況	5	3
5	火災原因別の発生の状況	5	3
6	過去5年間の火災件数の推移	5	4
7	月別、種別別の消防事故発生の状況	5	5

《救急編》

1	救急の概要	6	1
2	月別の救急出動の状況	6	1
3	曜日別の救急出動の状況	6	2
4	時間帯別の救急出動の状況	6	3
5	病院別の搬送人員の状況	6	3
6	年齢区分別、事故種別別の救急搬送人員の状況	6	4
7	事故種別別、傷病程度別の救急搬送人員の状況	6	5
8	過去5年間の救急件数の推移	6	6

《救助編》

1	救助の概要	7	1
2	月別の救助出動の状況	7	1
3	曜日別、覚知別の救助出動の状況	7	2
4	時間帯別、種別別の救助出動の状況	7	2
5	過去5年間の救助件数の推移	7	3

消防団

《消防団編》

1	消防団の組織及び機構	8	1
2	消防団の所轄区域	8	2
3	消防団の状況		
(1)	消防団員の定数と実員	8	2
(2)	消防団員の配置の状況	8	3
(3)	消防団員の年齢の状況	8	3
4	消防団の表彰暦	8	4
5	消防機械の配置の状況(消防団)	8	5

総務編



1 精華町の概要

精華町は、京都府の南西端に位置し、併せて日本そして近畿圏のなかで、ほぼ地理的中心に位置し、西部と南部はなだらかな丘陵、東部には平坦な農地が広がり、東端には木津川が流れています。また、年間の平均気温は約16度で、温暖な気候と緑豊かな自然に恵まれています。また、万葉の時代以来、古くから人々の暮らしが営まれ続け、歴史と文化の香りあふれる農村集落のまちとして成り立ってきました。

それらを礎にして、けいはんな学研都市（関西文化学術研究都市、以下「学研都市」という。）の中心地として都市建設が進められ、なおも都市としての成長を続けるとともに、関西ひいては我が国全体の持続可能な新たな社会経済システム創造への寄与が期待されるという高邁な使命を帯びたまちです。

その歴史においては、幾多の天災や人災に遭っても、人と人が支え合い、自治を守り、今日に残る美しい田園と里山の風景を擁する郷土が育まれてきました。また、学研都市建設の開始以降も、開発と保全の調和のとれたまちづくりのもと、既存集落の住民と新市街地の住民が共に緑豊かな精華町を愛し、個性豊かな地域コミュニケーションが育まれているまちです。

「人を育み未来をひらく 学研都市 精華町」をまちの将来像に掲げ、「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」を進めています。

人口・世帯数の推移

	平成31年			令和2年			前年比		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
人口（人）	18,028	19,399	37,427	17,915	19,333	37,248	-113	-66	-179
世帯数（世帯）	14,959			15,111			+152		

※人口・世帯数については、各年4月1日現在。

2 精華町の位置図



所在地（京都府相楽郡精華町）

位置	北緯：34度45分 東経：135度47分
町域	東西：4.78Km 南北：4.85Km
面積	25.68Km ²

精華町ホームページ

URL	https://www.town.seika.kyoto.jp
-----	---

3 精華町消防の沿革（沿革録より抜すい）

大正10年10月13日	相楽郡狛田村151名、稲田村151名、祝園村151名で各村3部編成並びに山田荘村321名で4部編成し、それぞれ消防組を設置する。
昭和6年10月1日	相楽郡狛田村、稲田村及び祝園村を合併し503名10部編成で川西村消防組を設置する。
昭和8年1月5日	川西村消防組の定員を207名とし、6部編成する。
昭和14年4月1日	各消防組を川西警防団（207名6部編成）及び山田荘警防団（230名4部編成）に改める。
昭和22年10月3日	各警防団を川西村消防団（207名6部編成）及び山田荘村消防団（230名4部編成）に改める。
昭和24年12月26日	川西村消防団無火災により京都府消防協会長より表彰を受ける。
昭和26年4月1日	川西村、山田荘村合併に伴い精華村消防団を結成し、斉藤源太氏、消防団長に就任する。
昭和28年2月1日	田尻定一郎氏、消防団長に就任する。
昭和29年10月10日	山城ブロック消防ポンプ操法競技会において成績第1位に付き京都府消防協会長より竿頭綬を授与される。
昭和30年4月1日	精華村が精華町に改められ、精華町消防団と改め、定員を345名とする。
昭和32年6月14日	精華町消防委員会条例を制定する。
昭和34年2月19日	精華町消防団の組織等規則を制定する。
4月1日	精華町消防団条例を制定する。
昭和36年2月1日	前田儀一氏、消防団長に就任する。
昭和37年3月28日	精華町火災予防条例を制定する。
昭和39年7月21日	精華町非常備消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を制定する。
昭和40年10月29日	精華町消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例を制定し、団員の定員を265名に改める。
昭和41年8月4日	精華町消防団員等公務災害補償条例を制定する。
昭和43年10月24日	京都府知事から竿頭綬を授与される。
昭和46年10月21日	京都府知事定例表彰により竿頭綬を授与される。
昭和47年4月1日	精華町職員消防隊を設置し、定員15名とする。
12月1日	昭和47年度優良消防団として、京都府消防協会から表彰旗を授与される。
昭和48年4月1日	川本常一氏、消防団長に就任する。
11月1日	職員3名第1期生として採用する。
昭和49年3月30日	精華町消防本部及び消防署の設置等に関する条例を制定する。 名称 精華町消防本部 位置 精華町大字北稻八間小字丸山7番地 名称 精華町消防署 位置 精華町大字北稻八間小字丸山7番地 精華町消防本部組織規則を制定する。 精華町消防吏員階級規則を制定する。 消防団の編成を3分団13部とし、団員の定員を351名に改める。
6月1日	精華町消防の用に供する貯水施設等設置基金条例を制定する。

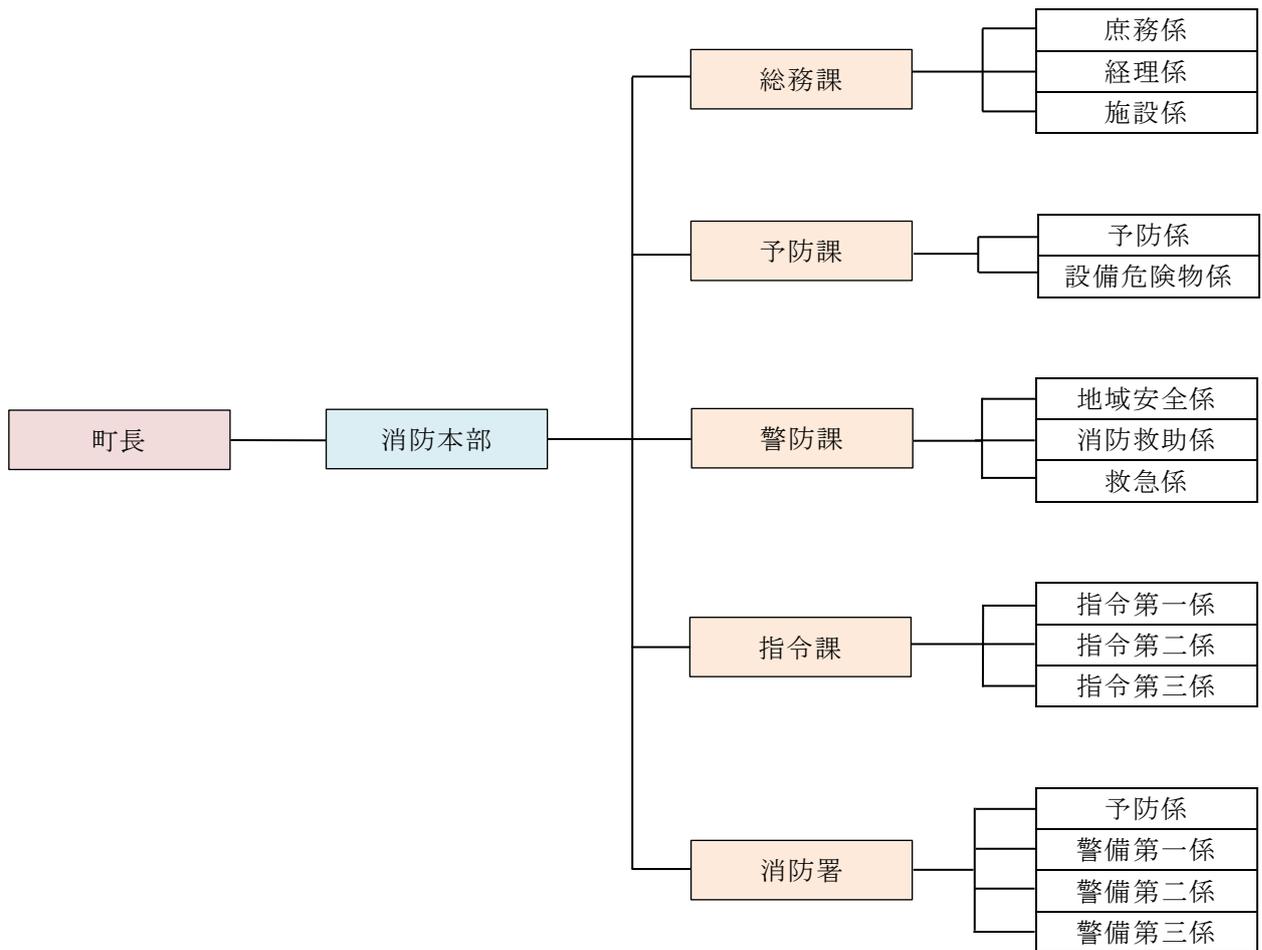
昭和49年 6月25日	職員6名第2期生として採用する。 精華町救急活動規程を制定する。 精華町消防吏員服制規則を制定する。 精華町消防署組織規程を制定する。 精華町消防職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する取扱規程を制定する。
10月 1日	消防本部・署が発足する。 寺川湖三氏、消防長に就任する。 消防長以下11名にて救急業務及び予防業務を開始する。
10月14日	消防団本部を消防本部内に移す。 町体育館等にて消防本部・署開署式及び開署記念パレードを実施する。
12月 1日	職員8名第3期生として採用する。
昭和50年 4月 1日	職員4名第4期生として採用する。
4月30日	自治省告示第121号にて消防本部及び消防署を置かなければならない市町村に指定され、昭和51年4月1日から効力発生する。
9月30日	精華町火災予防条例を全面改正する。 精華町消防賞じゅつ金条例を制定する。
10月 1日	精華町消防通信規程を制定する。 職員3名第5期生として採用する。
昭和51年 2月17日	精華町消防機械器具に関する規程を制定する。
3月30日	精華町消防吏員、消防団員の訓練及び礼式に関する規則を制定する。 精華町消防吏員服装規程を制定する。 精華町消防団の組織等に関する規則を全面改正する。 精華町消防吏員被服等貸与に関する規程を制定する。 精華町消防賞じゅつ金審査委員会規程を制定する。
4月 1日	職員4名第6期生として採用する。
8月17日	精華町消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正し、精華町大字北稲八間小字寄田長31番地に消防本部・署、消防団本部を移転する。
8月22日	第3回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
昭和52年 4月 1日	職員2名第7期生として採用する。
昭和53年 1月 1日	精華町消防職員服務規程を制定する。
3月27日	精華町消防長危険物専決規程を制定する。
4月 1日	精華町危険物規制規則を制定する。
7月28日	補給装置付防火水槽の設置及び管理に関する条例を制定する。
8月 1日	精華町消防団員の服制規則を制定する。
8月20日	第4回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
昭和54年 2月10日	昭和53年度優良消防団として、日本消防協会から表彰旗を授与される。
11月26日	あき地の防火管理に関する指導要綱を制定する。
昭和55年 3月 5日	昭和54年度優良消防本部・消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。
8月 4日	精華町水防協議会条例を制定する。
8月10日	第5回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。

昭和55年 8月22日	第6回京都府消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
昭和56年 4月 1日 10月10日	職員2名第8期生として採用する。 久保正一氏、消防団長に就任する。
昭和57年 8月31日 10月11日	第7回京都府消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。 第8回日本消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）に出場する。
昭和59年 4月 1日	杉嶋愛治氏、消防団長に就任する。
昭和60年10月23日	京都府知事表彰旗を授与される。
昭和62年 4月 1日 10月 1日	奥巖氏、消防長に就任する。 職員2名第9期生として採用する。 救助隊（兼務）を発足する。
昭和63年 4月 1日	職員2名第10期生として採用する。
平成 2年 4月 1日	職員2名第11期生として採用する。
平成 3年 4月 1日	職員1名第12期生として採用する。
平成 4年 8月31日 11月17日	第12回京都府消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）で入賞する。 平成4年度消防庁長官優良消防機関表彰に伴う表彰調査受閲。
平成 5年 3月 3日	平成4年度消防庁長官優良消防機関表彰（表彰旗）を受ける。
平成 7年 4月 1日 4月11日	高規格救急自動車及び救急救命士の運用を開始する。 職員2名第13期生として採用する。 精華町消防本部救急救命士運用要領を制定する。
平成 8年 4月 1日	久村勝氏、消防長に就任する。 高田尚彦氏、消防団長に就任する。
平成 9年 4月 1日	職員2名第14期生として採用する。
平成11年 1月28日 4月 1日	京都府知事特別表彰旗を授与される。 職員1名第15期生として採用する。
平成12年 4月 1日 12月 1日	精華町消防手数料条例を制定する。 職員1名第16期生として採用する。 精華町消防団女性部10名で発足する。
平成13年 4月 1日	浅田清隆氏、消防長に就任する。
平成14年 1月 1日 7月28日	京都府消防協会長表彰旗を授与される。 第14回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
平成15年 4月 1日 7月27日	職員1名第17期生として採用する。 第15回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
平成16年 4月 1日 7月25日	川嶋一生氏、消防長に就任する。 清水誠氏、消防団長に就任する。 職員3名第18期生として採用する。 第16回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
平成17年 4月 1日	職員4名第19期生として採用する。
平成18年 4月 1日 7月23日 8月 6日	職員2名第20期生として採用する。 第17回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。 第19回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で奨励賞を受賞する。
平成19年 4月 1日	職員1名第21期生として採用する。

平成20年 4月 1日	杉原孝司氏、消防長に就任する。 清水誠消防団長、京都府消防協会相楽支部長に就任する。 精華町職員定数条例の一部を改正し、消防本部・署の定員を53名に改める。 職員6名第22期生として採用する。
7月 7日	精華町消防団操法大会優勝旗新調する。
8月26日	財団法人日本宝くじ協会から消火・通報訓練指導車を寄贈される。
平成21年 4月 1日	職員4名第23期生として採用する。
9月 1日	精華町消防本部予防技術資格者の認定等に関する規程を制定する。
平成22年 2月18日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金により救助ボートを購入する。
4月 1日	吉田一雄氏、消防団長に就任する。 職員2名第24期生として採用する。
7月25日	第19回京都府消防協会相楽支部操法大会(小型動力ポンプの部)で準優勝する。
8月 1日	第21回京都府消防操法大会(小型動力ポンプの部)で4位入賞する。
平成23年 4月 1日	栗田省吾氏、消防長に就任する。 職員3名第25期生として採用する。
平成24年 2月23日	消防団が財団法人日本消防協会から特別表彰「まとい」を授与される。
3月20日	特別表彰まとい受章記念式典・パレードを実施する。
4月 1日	岩井三郎氏、消防団長に就任する。 職員2名第26期生として採用する。
7月29日	第20回京都府消防協会相楽支部操法大会(小型動力ポンプの部)で優勝する。
8月 1日	第22回京都府消防操法大会(小型動力ポンプの部)で優勝する。
12月27日	消防団旗新調する。
平成25年 4月 1日	職員2名第27期生として採用する。
平成26年 4月 1日	大矢義郎氏、消防長に就任する。 中西光泰氏、消防団長に就任する。 職員2名第28期生として採用する。
7月27日	第21回京都府消防協会相楽支部操法大会(小型動力ポンプの部)で準優勝する。
8月 3日	第23回京都府消防操法大会(小型動力ポンプの部)で優勝する。
11月 7日	第24回全国消防操法大会(小型動力ポンプの部)に出場する。
平成27年 4月 1日	職員2名第29期生として採用する。
7月 1日	新消防庁舎及び消防救急デジタル無線の運用を開始する。
平成28年 4月 1日	職員1名京都府立消防学校へ教官として派遣する。
7月31日	第24回京都府消防操法大会(小型動力ポンプの部)で準優勝する。
平成29年 3月22日	訓練棟完成に伴い消防庁舎車庫棟にて消防庁舎竣工式を実施し、同日から運用を開始する。
4月 1日	坂野佳彦氏、消防長に就任する。 職員3名第30期生として採用する。
平成30年 3月31日	職員1名京都府立消防学校へ教官としての派遣を終える。
4月 1日	職員2名第31期生として採用する。
7月22日	第23回京都府消防協会相楽支部消防操法大会(小型動力ポンプ

<p>平成30年 8月 5日</p> <p>11月 8日</p>	<p>の部) で優勝する。</p> <p>第25回京都府消防操法大会 (小型動力ポンプの部) で準優勝する。</p> <p>職員1名京都府高度救急業務推進協議会指導救命士に認定される。</p>
<p>平成31年 4月 1日</p>	<p>内田昌輝氏、消防長に就任する。</p>
<p>令和 2年 4月 1日</p>	<p>喜多俊夫氏、消防団長に就任する。</p> <p>職員2名第32期生として採用する。</p>

4 消防本部の組織及び機構



※「消防団の組織及び機構」は、消防団《消防団編》に記載しています。

5 消防本部・署事務分掌

(1) 消防本部事務分掌

総務課	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防本部、消防署の組織及び総合企画並びに連絡調整に関すること。 (2) 職員の人事に関すること。 (3) 文書及び公印の保管に関すること。 (4) 職員の教養に関すること。 (5) 協定に関すること。 (6) 職員及び消防等作業従事者の公務災害補償に関すること。 (7) 職員の表彰、叙勲に関すること。 (8) 公務による交通事故の処理及び賠償に関すること。 (9) 職員の福利厚生及び健康管理に関すること。 (10) 部内会議に関すること。 (11) 総括安全管理者会議に関すること。 (12) 消防本部、消防署の事業計画に関すること。 (13) 職員の労務管理に関すること。 (14) 消防職員委員会に関すること。 (15) 消防長の秘書に関すること。 (16) 消防団に関すること。 (17) その他各課又は各係に属さないもの。
	経理係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防費の歳入、歳出予算及び執行管理に関すること。 (2) 補助金及び起債に関すること。 (3) 消防本部及び消防団に属する財産の管理に関すること。 (4) 一般経理に関すること。 (5) コンピューター等導入、管理に関すること。 (6) 職員の給貸与品に関すること。 (7) 職員の給与と旅費等の集計に関すること。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防装備等の企画計画及び科学化に関すること。 (2) 消防装備等の配置計画に関すること。 (3) 消防機械器具の整備保全に関すること。 (4) 消防関係車両の車検及び定期検査に関すること。 (5) 特殊機械器具の操作技術の指導に関すること。 (6) 消防機械器具の安全対策に関すること。 (7) 消防機械器具の研究改善に関すること。 (8) 防火水槽設置工事に関すること。 (9) 消防庁舎等の管理・整備に関すること。
予防課	予防係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災予防の対策に関すること。 (2) 事業所等の予防査察及び防火指導に関すること。 (3) 各種火災予防運動に関すること。 (4) 防火管理者等の指導に関すること。

予防課	予防係	<ul style="list-style-type: none"> (5) 防火管理者資格取得講習会に関する事。 (6) 火災警報の伝達に関する事。 (7) 火災注意報の発令に関する事。 (8) 文化財の防火に関する事。 (9) 婦人防火クラブ、幼年消防クラブ及び防火委員会に関する事。 (10) 自衛消防組織の育成指導に関する事。 (11) 火気設備等の設置指導に関する事。 (12) 消防広報、公聴の調整及び広報紙等の企画編集に関する事。 (13) 住宅用火災警報器等の設置指導に関する事。 (14) その他各係に属さないもの。
	設備危険物係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防用設備等の設置指導に関する事。 (2) 防災物品等の設置指導に関する事。 (3) 消防活動上必要な消防用設備設置及び操作技術の指導に関する事。 (4) 建築物に関する同意事務に関する事。 (5) 危険物の規制に関する事。 (6) 指定可燃物の規制に関する事。 (7) 高圧ガス施設の同意事務に関する事。 (8) 液化石油ガス等の防火に関する事。

警防課	地域安全係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 大型開発及び宅地開発に関する事。 (2) 地域防災計画及び都市計画等の検討助成に関する事。 (3) 消防組織法に基づく消防計画に関する事。 (4) 自主防災組織の育成指導に関する事。 (5) 消防統計に関する事。 (6) 責任受持管区の割り振りに関する事。 (7) 住民の訓練等防火防災指導に関する事。 (8) 学研地区防災連絡協議会に関する事。
	消防救助係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 災害の警戒及び防ぎよ、災害対応計画に関する事。 (2) 特別警備計画及び特殊災害対策に関する事。 (3) 消防救助訓練等に係る企画立案及び指導育成に関する事。 (4) 国民保護に関する事。 (5) 安全管理計画に関する事。 (6) 法定安全運転管理者に関する事。 (7) 緊急車運転資格取得に関する事。 (8) 救助業務に関する事。 (9) 緊急消防援助隊の出動計画に関する事。 (10) 救助資機材等の整備管理に関する事。 (11) その他各係に属さないもの。
	救急係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急事務に関する事。 (2) 救急統計に関する事。 (3) 救急訓練等の指導育成に関する事。 (4) 救急活動計画に関する事。

警防課	救急係	(5) 救急法等の指導に関すること。 (6) 救急医薬材料の整備管理に関すること。
-----	-----	--

指令課	指令第一係 指令第二係 指令第三係	(1) 消防通信に関すること。 (2) 隊の出動に関すること。 (3) 職員の非常招集に関すること。 (4) 火災とまぎらわしい煙又は火炎を發するおそれのある行為等の届出(精華町火災予防条例第 5 条第 3 号、第 4 号及び第 5 号の 2 を除く。)に関すること。
-----	-------------------------	---

(2) 消防署事務分掌

消防署	予防係	(1) 火災予防の対策に関すること。 (2) 事業所等の予防査察及び防火指導に関すること。
	警備第一係 警備第二係 警備第三係	(1) 庶務に関すること。 (2) 災害の警戒及び防ぎよに関すること。 (3) 消防訓練に関すること。 (4) 消防団の訓練に関すること。 (5) 住民に対する訓練等防火指導に関すること。 (6) 火災その他、災害調査に関すること。 (7) 消防水利に関すること。 (8) 安全管理に関すること。 (9) 救急業務に関すること。 (10) 救助業務に関すること。 (11) 指令業務に関すること。 (12) 水防業務に関すること。 (13) 水防資機材整備管理に関すること。 (14) その他各係に属さないもの。

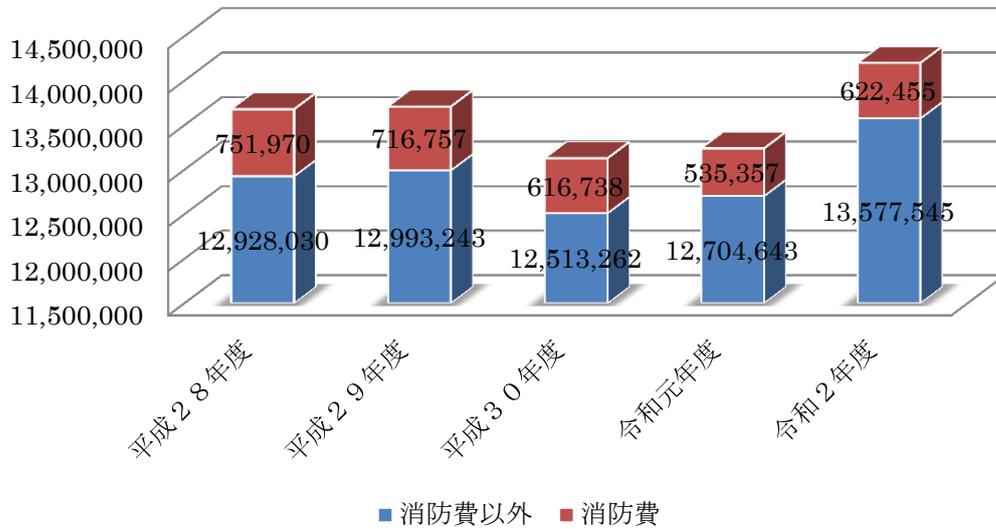
6 消防の予算

(1) 一般会計と消防費（当初予算）

年度	予算額	町一般会計予算額	消防費予算額	消防費の比率
平成 28 年度		13,680,000	751,970	5.5%
平成 29 年度		13,710,000	716,757	5.2%
平成 30 年度		13,130,000	616,738	4.7%
令和 元 年度		13,240,000	535,357	4.0%
令和 2 年度		14,200,000	622,455	4.4%

(単位：千円)

一般会計と消防費（当初予算）の推移

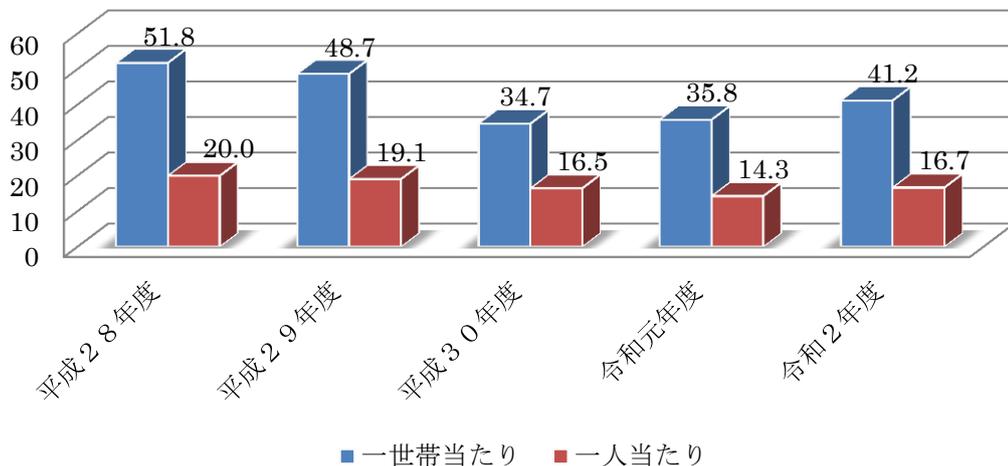


(2) 消防費（当初予算）と世帯数及び人口当たりの比較

年度	消防費 予算額	一世帯当たり	一人当たり
平成28年度	751,970	51.8	20.0
平成29年度	716,757	48.7	19.1
平成30年度	616,738	34.7	16.5
令和元年度	535,357	35.8	14.3
令和2年度	622,455	41.2	16.7

(単位：消防費予算額は千円、一世帯及び一人当たりは円)

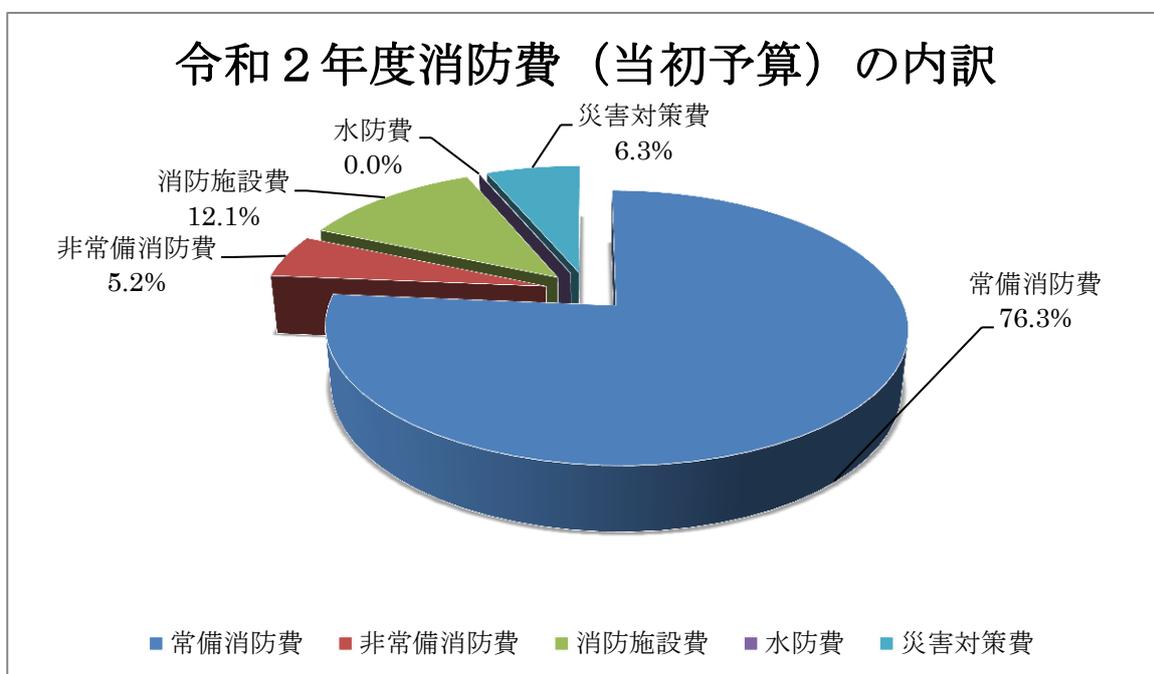
一世帯当たり及び一人当たりの 消防費の推移



(3) 令和2年度消防費（当初予算）の内訳

予算項目	当初予算額 (%)	合計 (%)
常備消防費	475,185 (76.3%)	622,455 (100%)
非常備消防費	32,577 (5.2%)	
消防施設費	75,197 (12.1%)	
水防費	230 (0.0%)	
災害対策費	39,266 (6.3%)	

(単位：千円)



7 消防職員の配置の状況

所属等		階級等		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	合計	
消防本部	消防長		1								1	
	次長											
	参事											
	総務課	課長			1						1	2
		課長補佐・係長等			1	3						4
		主査等					4	1	2	1		8
	予防課	課長			1							1
		課長補佐・係長等			1	2						3
		主査等				1	4	1				6
	警防課	課長			1							1
		課長補佐・係長等			1	4						5
		主査等				2	3	1				6
	指令課	課長				①						①
		課長補佐・係長等			1	③						1 ③
		主査等					2					2
小計			1	7 ④	12	13	3	2	2		40 ④	
消防署	消防署長			1							1	
	署長補佐			3							3	
	予防係	係長等				①						①
		主査等				①	②					③
	警備係	係長等			②	1						1 ②
		主査等				1	2	1	4			8
小計				4 ②	2 ②	2 ②	1	4			13 ⑥	
合計			1	11 ⑥	14 ②	15 ②	4	6	2		53 ⑩	
定員			53									

令和2年4月1日現在

注. ○数字は、兼任又は事務取扱いを示す。

8 消防職員の年齢の状況

年齢 \ 階級等	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	合計
25歳未満						3		3
25歳以上30歳未満				1	4	3		8
30歳以上35歳未満			5	10				15
35歳以上40歳未満			6	3				9
40歳以上45歳未満		5	1					6
45歳以上50歳未満		2		1				3
50歳以上55歳未満		2	2				1	5
55歳以上	1	2					1	4
小計	1	11	14	15	4	6	2	53
定員	53							

令和2年4月1日現在

予 防 編



1 防火対象物一覧表

政令別表の 区分		防火対象物の別	防火対象物の 数
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	
	ロ	公会堂・集会場	43
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	1
	ハ	風俗営業店等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合・料理店等	1
	ロ	飲食店	12
4		百貨店・マーケット等	16
5	イ	旅館・ホテル等	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	260
6	イ	病院・診療所等	12
	ロ	乳児院・重度の福祉施設等	4
	ハ	保育所・軽度の福祉施設（老人福祉センター）等	19
	ニ	幼稚園・養護学校等	11
7		小学校・中学校・高等学校等	29
8		図書館・博物館等	2
9	イ	公衆浴場（蒸気浴場・熱気浴場等）	
	ロ	公衆浴場（蒸気浴場・熱気浴場等以外）	
10		車両の停車場等	2
11		神社・寺院・教会等	19
12	イ	工場・作業場	57
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	1
	ロ	格納庫（飛行機・回転翼航空機）	
14		倉庫	26
15		事業場（1項～14項以外）	153
16	イ	特定複合用途防火対象物	68
	ロ	非特定複合用途防火対象物	41
17		重要文化財、重要有形民俗文化財等	1
合計			778

令和2年3月31日現在

2 消防用設備等の設置の状況

消防用設備等の区分 政令別表の区分	消火設備					警報設備			避難設備		消火活動上必要な設備					
	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	避難器具	誘導灯	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備	
1	イ															
	ロ	1				9		36	4	41						
2	イ															
	ロ					1		1		1						
	ハ ニ															
3	イ	1				1			1	1						
	ロ					3		8	1	11						
4		3	2	2		10		7		14	1	1	1	1		
5	イ															
	ロ	4		4		34	16	12	14	9				7	1	
6	イ	1	2	1		6		6	1	13	1			1		
	ロ		4			5		1	2	4						
	ハ		2			12		5	6	17						
	ニ	2				9		5	3	12						
7		14				25		15	2	7						
8		1	1	1		1		1		1				1	1	
9	イ															
	ロ															
10						2				1						
11						1										
12	イ	20		1	3	5	34	1	2		15	2				
	ロ															
13	イ			5			3				2					
	ロ															
14		5				15				6				1	1	
15		19	2	8	6		55		30	11	44	5		6	1	
16	イ	4	4	3			25		16	8	46	1	3		3	
	ロ	2		1			4		4	5	2					
17						1										
合計		77	17	26	9	5	256	17	149	58	247	11	4	1	20	4

令和2年3月31日現在

3 製造所等別の許可、完成検査及び廃止届等の状況

製造所等の別 区分		製造所	貯蔵所						取扱所					合計			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	貯蔵所の小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所	取扱所の小計	
許可	設置		3	1		1			5					1	1	6	
	変更		2						2	1				1	2	4	
	設置場所 変更	他許可行政 庁に転出															
		他許可行政 庁から転入															
完成検査	設置		2	1					3							3	
	変更		1						1	1					1	2	
	他許可行政 庁から転入																
廃止届等																	
完成検査前に設置許可 の取り消し処分																	

令和元年度中

4 危険物施設の仮使用、危険物の仮貯蔵及び仮取扱の状況

製造所		仮使用												仮貯蔵	仮取扱	合計
		貯蔵所						取扱所								
屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	貯蔵所の小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	取扱所の小計				
1						1	1					1				2

令和元年度中

5 危険物施設の状況

製造所等の別 区分		製造所	貯蔵所						取扱所					合計		
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	貯蔵所の小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所	取扱所の小計
数量の 倍数別	5倍以下		7	1	3	8		3	22					3	3	25
	5倍を超え 10倍以下	1	5			6			11	1				2	3	15
	10倍を超え 50倍以下			2		6			8	1				6	7	15
	50倍を超え 100倍以下							1	1	1					1	2
	100倍を超え 150倍以下									2					2	2
	150倍を超え 200倍以下															
	200倍を超え 1,000倍以下									4					4	4
	1,000倍を超え 5,000倍以下															
	5,000倍を超え 10,000倍以下															
	10,000倍を 超えるもの															
	合計	1	12	3	3	20		4	42	9				11	20	63
類別	単 独	第1類														
		第2類														
		第3類														
		第4類	1	12	3	3	20		4	42	9			11	20	63
		第5類														
		第6類														
	混在															
合計	1	12	3	3	20		4	42	9				11	20	63	

令和2年3月31日現在

6 自主防災組織等の状況

(1) 自主防災組織

地域住民が主体となり、地域コミュニティのなかで、今後予想される地震災害を初めとするさまざまな災害が発生した場合に、自助・共助の精神に基づき「自分たちの地域は自分たちで守る。」ことを意識し、災害に強いまちづくりを図ることを目的とし、現在35組織が結成されています。

自主防災組織名	結成年月日	会員世帯数
光台七丁目防災会	平成 5年 8月 1日	632
桜が丘四丁目防災会	平成 6年10月 1日	549
桜が丘三丁目防災会	平成 7年 4月 1日	544
滝ノ鼻防災会	平成 7年11月 1日	371
光台六丁目防災会	平成 8年 8月 4日	610
光台四丁目自主防災会	平成 9年 9月 1日	618
谷自主防災会	平成10年 3月 1日	124
光台五丁目自主防災会	平成10年 4月19日	313
光台八丁目自主防災会	平成10年 6月 1日	534
桜が丘二丁目自主防災会	平成11年 8月 1日	379
里自主防災会	平成13年 1月 1日	111
中久保田自主防災会	平成14年10月 1日	192
乾谷自主防災会	平成15年10月 1日	157
精華台三丁目自主防災会	平成16年 4月 1日	434
精華台四丁目自主防災会	平成16年 4月 1日	531
精華台一丁目自主防災会	平成17年 3月 1日	374
中自主防災会	平成17年 4月 1日	182
山田自主防災会	平成19年 4月 1日	247
菱田自主防災会	平成19年 8月26日	631
僧坊自主防災会	平成21年 1月 1日	738
南自主防災会	平成21年10月 1日	961
精華台一丁目トチノキ自主防災会	平成22年 4月 4日	128
南稲自主防災会	平成23年 1月23日	459

精華台二丁目自主防災会	平成23年 5月15日	362
柘榴自主防災会	平成23年 7月 1日	124
舟自主防災会	平成23年 7月25日	434
桜が丘一丁目自主防災会	平成23年 9月 3日	507
北稲自主防災会	平成24年 4月 1日	337
植田自主防災会	平成26年 9月 1日	372
精華台五丁目自主防災会	平成26年10月 4日	344
光台九丁目自主防災会	平成27年 4月 1日	279
東畑自主防災会	平成27年 4月 1日	255
菅井自主防災会	平成28年 4月 1日	121
桜が丘三丁目エスペローマ自主防災会	平成29年 1月 1日	159
西北自主防災会	平成31年 4月 1日	105

令和2年4月1日現在

(2) 婦人防火クラブ

家庭を守り、家中の誰よりも火を取り扱う機会の多い婦人が、火災等の災害から我が家を守るという自覚のもとに、防火について研究・実行し、普及させ、火災のない平和で明るいまちづくりのため、消防本部・消防団と協力して、地域の火災予防の徹底を図ることを目的とし、現在3組織が結成されています。

婦人防火クラブ名称	結成年月日	クラブ員数
北稲婦人防火クラブ	昭和56年10月 1日	16
東畑婦人防火クラブ	昭和57年11月28日	10
植田婦人防火クラブ	昭和58年 3月 1日	32

令和2年4月1日現在

(3) 幼年消防クラブ

子どもによる火遊びや放火による火災を減らすため、また、火災の恐ろしさを学ぶため、火災について学び、正しい火の取り扱いについての知識を身につけるとともに、消防への関心を持ってもらうことを目的とし、町内の幼稚園、保育所で結成し、活躍されています。

幼年消防クラブ名称	結成年月日	クラブ員数
精華聖マリア幼稚園幼年消防クラブ	昭和60年 4月11日	301
光が丘幼稚園幼年消防クラブ	〃	272
ほうその保育所幼年消防クラブ	〃	178
こまだ保育所幼年消防クラブ	〃	170
いけたに保育所幼年消防クラブ	平成 3年 7月 1日	116
星の光幼稚園幼年消防クラブ	平成12年 4月24日	296
ひかりだい保育所幼年消防クラブ	〃	176
せいかだい保育所幼年消防クラブ	平成17年 4月 1日	179

令和2年4月1日現在

(4) 精華町防火委員会

昭和57年9月1日結成。

町内で結成されている幼年消防クラブ及び婦人防火クラブの組織の育成・強化及び防火に関する知識の向上に努め、その発展を図ることを目的とし結成されています。

(5) 消防支援ボランティア

平成11年1月17日結成

町内在住の元消防職・団員の希望者がボランティア登録を行い、地震等の災害が発生した場合に、消防本部・消防団が行う消火、救助、救急活動等の消防活動を支援することを目的に結成されています。

なお、令和2年4月1日現在、71名の方が登録されています。

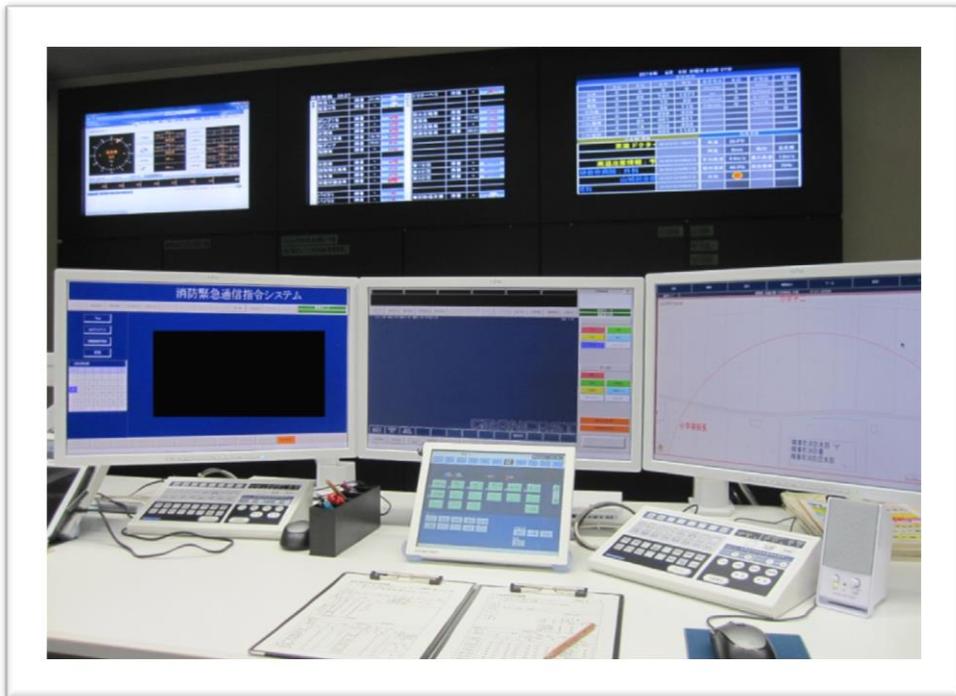
7 防火指導の状況

項目	回数	参加人数					
		成人	小学生 中学生	未就学児 〔幼年消防 クラブ含む〕	婦人防火 クラブ	自主 防災組織	合計
防火映画会	15	586	3	2,316		23	2,928
露店指導	12	113					113
消火器取扱説明会	23	120	127	8		328	583
消防器具取扱説明会	24	59	61	4		456	580
各種研修会・講習会	29	125	69	17		592	803
花火指導	11	185		1,322	58		1,565
消防訓練	48	1,292	1,405	2,982			5,679
地震体験会	16	202	171	1,124		139	1,636
法8訓練(※)	109	4,357	3,385	4,822			12,564
その他	15	153	61	24		314	552
合計	302	7,192	5,282	12,619	58	1,852	27,003

令和元年中

※ 「法8訓練」：消防法で定められた防火管理者を置く事業所が行う自衛のための訓練をいう。

通信指令編



1 消防無線の設置の状況

基地局

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかほんぶ	10W	○	○	○	消防本部

陸上移動局：車載型

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかポンプ1	10W	○	○	○	普通消防ポンプ車1号
せいかポンプ2	10W	○	○	○	普通消防ポンプ車2号
せिकासいそう1	10W	○	○	○	水槽付きポンプ車
せいかきゅうじょ1	10W	○	○	○	救助工作車
せいかダンプ1	10W	○	○	○	軽ダンプ
せいかきゅうきゅう1	10W	○	○	○	救急車1号
せいかきゅうきゅう2	10W	○	○	○	救急車2号
せいかしれい1	10W	○	○	○	指令車
せिकासいぼう1	10W	○	○	○	水防車
せいかしきはんそう1	10W	○	○	○	水防資機材搬送車
せいかしき1	10W	○	○	○	指揮車
せिकासさつ1	10W	○	○	○	査察車
せいかだんしき1	10W	○	○	○	消防団指揮広報車
せいかくんれん1	10W	○	○	○	訓練指導車
せいかふぼう1	10W	○	○	○	広報車

陸上移動局：携帯型

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかけいたい0	5W	○	○	○	
せいかけいたい1	5W	○	○	○	
せいかけいたい2	5W	○	○	○	
せいかけいたい3	5W	○	○	○	
せいかけいたい11	5W	○	○	○	
せいかけいたい12	5W	○	○	○	
せいかけいたい13	5W	○	○	○	
せいかけいたい21	5W	○	○	○	
せいかけいたい22	5W	○	○	○	
せいかけいたい23	5W	○	○	○	
せいかけいたい31	5W	○	○	○	
せいかけいたい32	5W	○	○	○	
せいかけいたい33	5W	○	○	○	
せいかけいたい51	5W	○	○	○	
せいかけいたい52	5W	○	○	○	

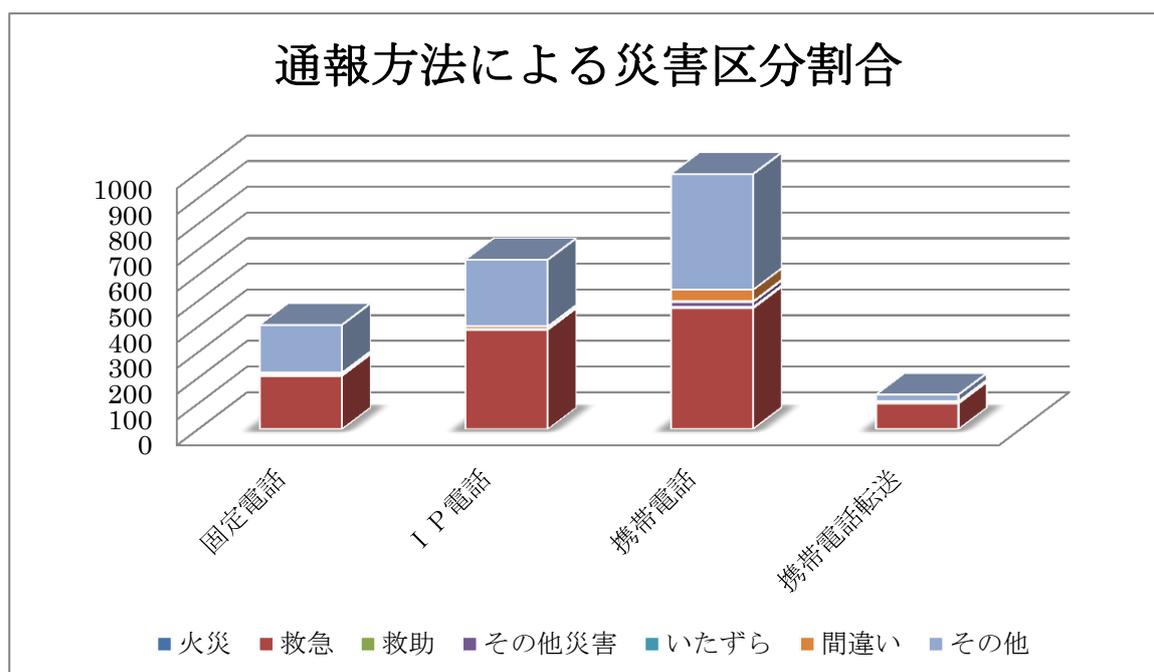
陸上移動局：可搬型

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかたくじょう1	10W	○	○	○	

2 119番通報の状況

通報方法 災害区分	固定電話	I P 電話	携帯電話	携帯電話転送	合計
火災	1		2	1	4
救急	208	388	470	100	1,166
救助			5	2	7
その他災害	3	3	19	4	29
いたずら	3	1	3		7
間違い	6	9	45	3	63
その他	186	259	450	25	920
合計	407	660	994	135	2,196

令和元年中



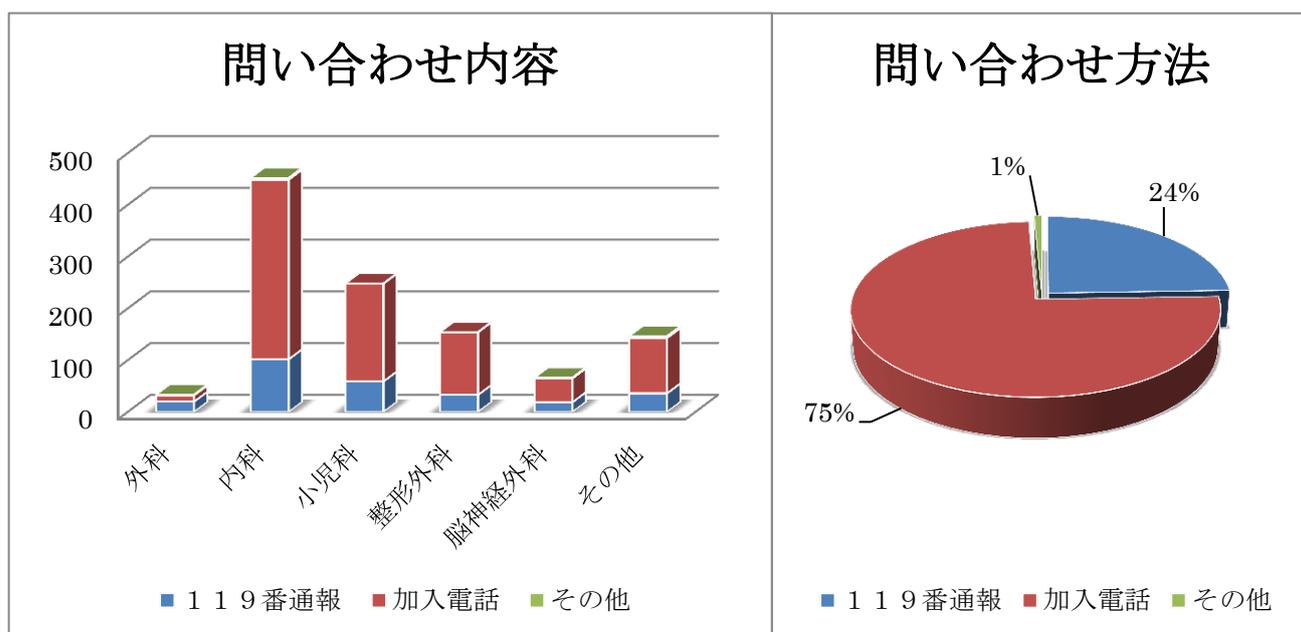
3 病院紹介の状況

問い合わせ内容 問い合わせ方法	外科	内科	小児科	整形外科	脳神経外科	その他	合計
119番通報	20	102	59	33	19	36	269
加入電話(※)	12	347	189	121	46	107	822
その他	1	3			1	3	8
合計	33	452	248	154	66	146	1,099

令和元年中

※「加入電話」：病院紹介用の加入電話にて病院紹介を行ったもの。

病院紹介用電話番号【精華町消防本部 指令課 0774-94-4197】



4 気象の状況（精華町消防本部）

月	風向・風速 (m/s)				気温 (°C)			湿度 (%)				雨量 (mm)			
	平均		最大		平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	最大			積算
	風速	風向	風速	風向								10分	時間	日	
1月	1.6	S	17.0	NW	4.4	12.3	-2.9	75.6	99.1	22.7	76.6	1.0	3.5	15.0	22.5
2月	1.4	NNW	15.6	SE	6.0	17.2	-2.5	67.8	95.5	21.3	68.0	1.5	5.0	16.5	36.5
3月	1.8	S	16.9	WSW	9.0	20.9	-1.3	62.5	94.1	10.0	63.0	1.5	3.5	12.5	56.0
4月	2.0	NW	19.2	NW	13.2	26.8	0.0	58.5	93.8	5.8	57.6	3.5	5.0	21.5	81.0
5月	2.0	S	16.0	ESE	19.7	35.2	4.1	50.5	92.7	2.7	51.6	3.0	12.5	41.5	76.0
6月	1.7	NE	18.2	E	23.0	33.4	15.4	64.3	93.0	16.9	62.4	8.5	9.0	25.0	90.0
7月	1.6	WSW	15.6	SE	25.9	37.5	19.6	73.7	94.1	34.1	74.0	12.0	20.0	31.0	191.5
8月	1.9	E	17.3	E	28.4	39.4	19.8	68.6	94.1	27.2	67.5	5.5	18.5	56.5	193.0
9月	1.9	E	15.6	SW	25.5	36.8	13.7	67.9	93.0	31.1	68.7	3.0	6.0	9.5	32.0
10月	1.7	NW	18.4	NNW	19.2	33.1	9.8	74.2	95.2	28.3	73.2	3.0	14.0	99.0	227.0
11月	1.2	S	12.5	NNW	11.9	23.8	1.3	70.6	95.5	26.1	70.6	1.0	3.0	7.0	10.5
12月	1.2	S	17.0	NW	7.3	17.4	-0.6	75.2	96.1	32.2	74.7	1.5	3.5	11.5	51.0
累計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,067.0
平均	1.7	S	—	—	16.1	—	—	67.5	—	—	67.3	—	—	—	—
最高	9.5	NW	19.2	NW	—	39.4	—	—	99.1	—	87.9	12.0	20.0	99.0	227.0
最低	—	—	—	—	—	—	-2.9	—	—	2.7	40.4	—	—	—	—

令和元年中

5 気象注意報・警報等の発表の状況（精華町）

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
大雨特別警報													
大雪特別警報													
暴風特別警報													
暴風雪特別警報													
大雨警報							1	1		1			3
洪水警報							1	1					2
大雪警報													
暴風警報										1			1
暴風雪警報													
大雨注意報					1	3	8	7	1	3			23
洪水注意報					1		3	2		1			7
大雪注意報	1												1
強風注意報			1	1	1	1	1	1	1	1		1	9
風雪注意報	1												1
雷注意報	6	3	9	4	7	9	14	15	11	7	4	4	93
濃霧注意報		1									3	4	8
乾燥注意報		1	5	9	6	6		1					28
なだれ注意報													
着氷注意報													
着雪注意報													
融雪注意報													
霜注意報			11	9	1								21
低温注意報													

令和元年中

警 防 編



1 消防機械の配置の状況（消防本部・署）

種別	メーカー	年式	排気量 (CC)	ポンプ 級別	備考
普通消防ポンプ車1号	日野	H23年	4,000	A-2	CD-I型 水槽 700ℓ
普通消防ポンプ車2号	三菱	H10年	4,560	A-2	CD-I型
水槽付き消防ポンプ車	日野	H12年	8,200	A-2	I-A型 水槽1,500ℓ
救助工作車	日野	H24年	6,400		照明装置 クレーン装置
軽ダンプ	ダイハツ	H18年	660	B-2	小型動力ポンプ積載
救急車1号	トヨタ	H29年	2,690		高規格救急車
救急車2号	トヨタ	R2年	2,690		高規格救急車
指令車	三菱	H9年	1,830		
水防車	三菱	H7年	3,560		最大積載量 2ト
水防資機材搬送車	いすゞ	H17年	4,777		最大積載量 3.5ト クレーン装置
査察車	ダイハツ	R2年	650		
広報車	日産	H29年	1,990		広報マイク設備
指揮車	日産	H20年	3,490		
訓練指導車	マツダ	H20年	1,990		消火・通報訓練設備
赤バイク1号	ホンダ	H2年	49		
赤バイク2号	ホンダ	H10年	49		
小型動力ポンプ	トーハツ	H3年	494	B-3	横型2気筒 空冷2サイクル
小型動力ポンプ	トーハツ	H10年	494	B-3	横型2気筒 空冷2サイクル
小型動力ポンプ	トーハツ	H18年	617	B-3	横型2気筒 水冷2サイクル

令和2年4月1日現在

2 特殊機械器具等の配置の状況

	品名	仕様	数量	性能
消 火 用 器 具	ジェットシューター	容量18ℓ	26	放水射程 10m
	組立水槽	C型ビニールターボボン耐酸性	2	容量 1.5ℓ
	組立水槽	角型K2	3	容量 2.5ℓ
	放水銃	65mm 21/2B	1	放水角度 無段階調整
	無反動65用eノズルフォルダー	ガンタイプノズル型 PFH-65K	2	
	無反動40用eノズルフォルダー	ガンタイプノズル型 PEH-40A	5	
	クアドラフオグノズル	可変40mmフオグガン	9	流量調節機能付き
救 助 用 器 具	チタン製三連はしご	全長8.7m、折込3.5m、最大使用荷重120kg	4	使用角度約75度
	アリゾナポーテックス	重量約30kg	1	
	救助用三脚	重量14.5kg アルミニウム製	1	
	かぎ付きはしご	チタン製	4	
	折りたたみはしご	チタン製	3	
	ワイヤーはしご	7m/7m/15m	3	
	救命索発射銃	口径63mm ミロク式M-300	1	到達距離90m
	可搬式ウインチ	チルホール TU-16	3	けん引能力1.6ℓ
	セキュネット	ホルマトロ製	1	二次の膨脹防止
	ステップチョークAセット	使用荷重100kg/cm2 使用温度範囲-20℃~50℃	1式	ステップチョーク/ウェッジ
	ロックブロックBセット	使用荷重100Kg/cm2 使用温度範囲-20℃~50℃	1式	ロックブロック/ウェッジ
	ハイパワーカッター	ホルマトロ製	2	
	ハイパワースプレッター	ホルマトロ製	2	
	油圧エンジンポンプ	ホルマトロ製	2	送油能力19mpa
	ハンドポンプ	ホルマトロ製	2	油圧オイル量1.8ℓ
	マット型空気ジャッキ式	KPI-5/17/22/32/44 (2個同時使用可)	1	荷重4.8ℓ~43.8ℓ
	エンジンカッター	K1200-II (排気量100cc)/K760/K970	4	
	ガス容断器 (ニューチョパック)	重量30kg (アセチレンガス使用)	2	連続60分間切断可能
	チェーンソー	重量6.6kg	2	8,500RPM 8.5m/秒
	ワイヤーバスケット(タイタンT1)	重量6.6kg 材質:チタン	1	
	バスケットストレッチャー	モデル71	1	
	空気呼吸器	ドレーゲル製/重松製	28	
	携帯警報器	スーパーバス	16	
	空気ポンベ (8.4ℓ)	14.7mpa	3	
	空気ポンベ (4.7ℓ)	29.4mpa	36	
	空気ポンベ (6.8ℓ)	29.4mpa	23	
	化学防護服	防護服レベルA×6/レベルB×4/レベルC×10	20	
	メタハラ投光器 (可搬式)	MP-150AB-WG	6	150万cd
	移動式投光器 (ミニテラスター)	発電機付/水銀灯400W×2	3	高さ2.0m~4.2m
	発電機	YAMAHA EF2500i	1	
	発電機		2	
	高圧コンプレッサー	AK13BPX W形四段圧縮空冷式	1	最大吐出圧力29.4mpa
	スタティックロープ		5	50m×1、100m×4
シングルプーリー	ベツル社製	7	破断強度36KN	
セルフジャミングプーリー	ベツル社製 プロトラクション	2		
ダブルプーリー	ベツル社製	2	破断強度44KN	
ダブルプーリー	ベツル社製 スイベル付き	2	破断強度36KN	
セルフブレーキ下降器	ベツル社製 アイディ	2	パニック防止付き	

救 助 用 器 具	下降器	ベツル社製 ラック×1/角付き×2	3	破断強度36KN 左用×2/右用×2 最小破断強度36KN 浮力約8.0kg 7人乗(アルミ製) 6人乗り 浮力約10.7kg 重量約510g 伸長時4.2m/収縮時0.93m スポット温度範囲0~800℃ γ線 x線 γ線 x線 α線 β線 γ線 x線 切断力70.6KN
	ロードリリースストラップ	CMC製	2	
	ローブクランプ	ベツル社製 アッセンション	4	
	救助用ハーネス	ベツル社製 ファルコン	3	
	救助用ハーネス	ベツル社製 フルハーネス	5	
	救助用縛帯	ベツル社製 ピタゴール	2	
	リギングプレート	ベツル社製 ポーM	2	
	グラスマスター	ウインドボンチ付	3	
	携帯拡声器(ハンドマイク)		10	
	トランシーバー	スタンダード社製	19	
	救命胴衣	NQS-7型 TK-14A	21	
	救命ボート	F-12A(船外機取付可能)	1	
	インフレーターボート(救助ボート)	アキレス社製	1	
	防災ウェルダー	BW-62	5	
	ウェットスーツ	TUSA社製	2	
	PFD JPモデル		4	
	スイフトウォーター ヘルメット	CMC製	4	
	削岩機	COBRA	1	
	探索カメラ	プロカムPC-780S	1	
	熱画像カメラ	アルゴス4-320	1	
	個人線量計	PDM-222-SH CPXANRFA30	9	
	線量率測定器	RadEye G-10/RDS-30	2	
	表面汚染検査計	RadEye B-20	1	
	ペダルカッター	オグラ社製 OMC-923	1	
ガス測定器	アルティア4/アルティア5/シリウス	3		
レスキューパーティカルストレッチャー	FERNO社製	1		
コードレスコンピツール	オグラ社製	1		
チップソーカッター	マキタ社製	1		
救 急 用 器 具	携帯型自動車電話	NTTドコモ F-08B	2	救急救命処置指示要請等 携帯型自動式人工蘇生器 成人用心肺蘇生法訓練人形 少年用心肺蘇生法訓練人形 乳児用心肺蘇生法訓練人形 陰圧固定式 下肢圧迫による血圧保持 下肢圧迫による血圧保持 血液、嘔吐物等の吸引 血液、嘔吐物等の吸引 血液、嘔吐物等の吸引 FERNO製 Mondiarl Transporter コーケンメディカル製 アキュチェック 心電図、非観血圧、SpO2
	自動体外式除細動器	日本光電 TEC-2603/2513/ハートスタートFR2	5	
	半自動除細動器	日本光電 TEC-2603シリーズ	2	
	ポータブルレサシテーター	LSP型デマンドバルブ仕様	2	
	全身固定用ロングボード	FERNO製 モデル2010	5式	
	紫外線殺菌灯	スペースライザー(移動式)/オゾンUVエアクリア	2	
	スキルメータ・レサシ・アン	換気量、心臓マッサージ適否を表示	5	
	レサシ・ジュニア		4	
	レサシ・ベビー		1	
	スクープストレッチャー	FERNO製 モデル65/モデル65EXL	4式	
	バキュームスプリント	FW-20-12-97	2	
	ショックパンツ(成人用)	LSP型/MAST型	3	
	ショックパンツ(小児用)	LSP型	1	
	電池式自動吸引器	3電源方式/2段調整 レールダル	4	
	電動吸引器	日本船舶 パワーミニック	5	
	電動吸引器	日本船舶 パワーミニックII	1	
	エクステンジストレッチャー	FERNO製 Mondiarl Transporter	2	
	ペインライトEMS	コーケンメディカル製	2	
	血糖測定器	アキュチェック	2	
	患者監視装置	日本光電 BMS-4103	2	
自動式心マッサージ器	LUCAS2 心臓マッサージシステム	1		
自動心肺蘇生器	高研メディカル CLOVER3000Fパッケージ	1式		

救 急 用 器 具	耐振動血圧計	アナロイド型（ハンド式）	2	特定行為実習用 救命講習用 脊椎固定器具 気管挿管訓練用	
	手首式デジタル自動血圧計	オムロン HEM-6311	1		
	高度救命処置シュミレーター	高研 LM051A	1		
	AEDトレーナー	メドトロニクス社/レールダル社/日本光電	6		
	スピードボード	コーケンメディカル（株） KOMS10型	2		
	気道管理トレーナー	レールダルメディカルジャパン社製	1		
	二酸化炭素モニター	カブノチェックII	1		
	階段避難器具	モデル1-300H イーバックチェア	1		
	人工呼吸器	FERNO製	2		
	車載型人工呼吸器	高研ANSWER パラバック2000	2		
	心肺蘇生訓練人形	（株）ヤガミ	4		成人・乳児用心肺蘇生法訓練人形
	小児用全身固定具	モデル78 ベディバック	1		
	ベディバック	FERNO製 モデル78	1式		
	ビデオ喉頭鏡	ベンタックス エアウェイスコープ	2		
	ビデオ喉頭鏡用ブレード	ベンタックス エアウェイスコープ	8		
	フィンガーパルスオキシメータ	マシモジャパン マシモSETフィンガー	1		
	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-3562	1式		
	輸液ポンプ	テルモ TE-281N	1		
	インハレーター2	高研メディカル ANSWER	2		
	減圧弁	高研メディカル モデル801J	2		
酸素ボンベ9.4L	帝人 ヨーク式ニードルバルブ9号V	4			
酸素ボンベ2L	帝人 ヨーク式ニードルバルブ10号V	4			

令和2年4月1日現在

3 消防水利の現状

管区別			10管区	20管区	30管区	40管区 (桜が丘)	50管区 (光台)	60管区 (精華台)	合計
防火水槽	公設	総数	64	60	32	21	35	28	240
		適合	62	60	32	21	35	28	238
		適合外	2						2
	私設	総数	10	9	4	2	39	37	101
		適合	9	9	4	2	39	36	99
		適合外	1					1	2
消火栓	公設	総数	267	294	133	128	191	166	1,179
		適合	182	174	53	126	171	164	870
		適合外	85	120	80	2	20	2	309
	私設	総数							
		適合							
		適合外							
プール	公設	総数	2	1	1	2	2	1	9
		適合	2	1	1	2	2	1	9
		適合外							
	私設	総数							
		適合							
		適合外							

令和2年3月31日現在

※「適合」:「消防水利の基準」に適合している消防水利をいう。

※「井戸」「沼」「池」等の消防水利は無い。

火 災 編



1 火災の概要

令和元年中に町内で発生した火災は4件であり、前年より7件減少し、大幅な減少となりました。

また、火災の内訳については、建物火災2件、車両火災1件、その他火災1件でした。

「火災」の定義

火災とは、以下の3つの要素が含まれているものをいいます。

火災の 3要素	「人の意図に反し発生し若しくは拡大し、又は放火により発生したもの。」
	「消火の必要がある燃焼現象」
	「消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの。」

2 月別の火災発生状況

項目		月												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災 件数	建物	1					1								2
	林野														
	車両								1						1
	その他					1									1
焼損 棟数	全焼						1								1
	半焼														
	部分焼														
	ぼや	1													1
り災 世帯	全損						1								1
	半損														
	小損	1													1
り災人員		3					3								6

項目		月												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
焼損面積等	建物 (㎡)						157								157
	林野 (a)														
	車両 (台)								1						1
	その他 (㎡)					1									1
死傷者	死者														
	負傷者														

※焼損面積 (㎡) (a) : 小数点以下を四捨五入し算出。

令和元年中

項目		月												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
損害見積額	建物					10	12,768								12,778
	収容物	4					255								259
	林野														
	車両								360						360
	その他					56									56
合計		4				66	13,023		360						13,453

(単位：千円)

令和元年中

3 曜日別、覚知別の火災発生の状況

種別 曜日	専用電話		加入電話	事後聞知	駆け付け	その他	合計
	(固定電話)	(携帯電話)					
月曜日	1	1					2
火曜日							
水曜日							
木曜日				1			1
金曜日							
土曜日		1					1
日曜日							
合計	1	2		1			4

令和元年中

4 時間帯別、種別別の火災発生の状況

時間 \ 種別	建物	林野	車両	その他	合計
0時～ 3時まで	1				1
3時～ 6時まで					
6時～ 9時まで				1	1
9時～ 12時まで	1				1
12時～ 15時まで			1		1
15時～ 18時まで					
18時～ 21時まで					
21時～ 24時まで					
合計	2		1	1	4

令和元年中

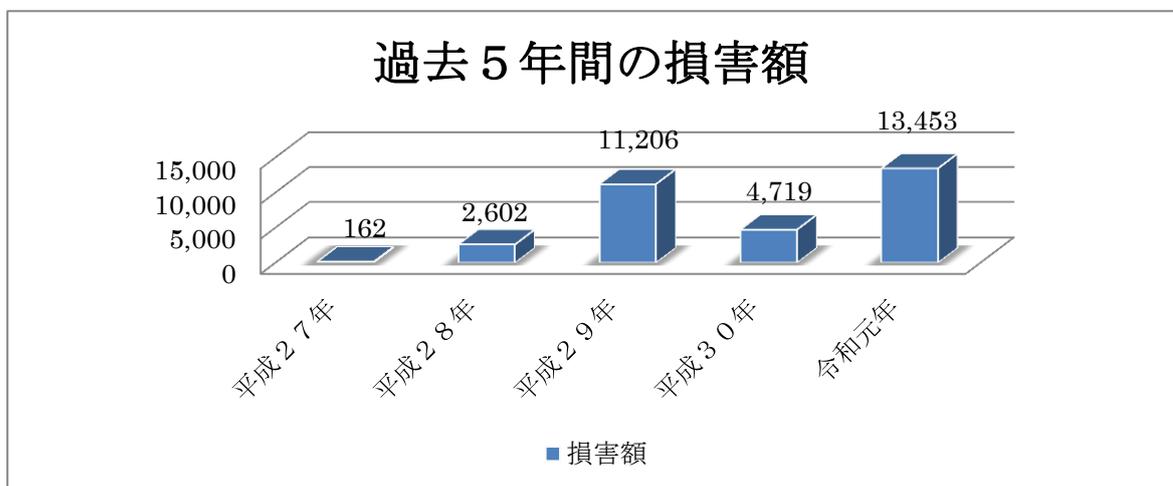
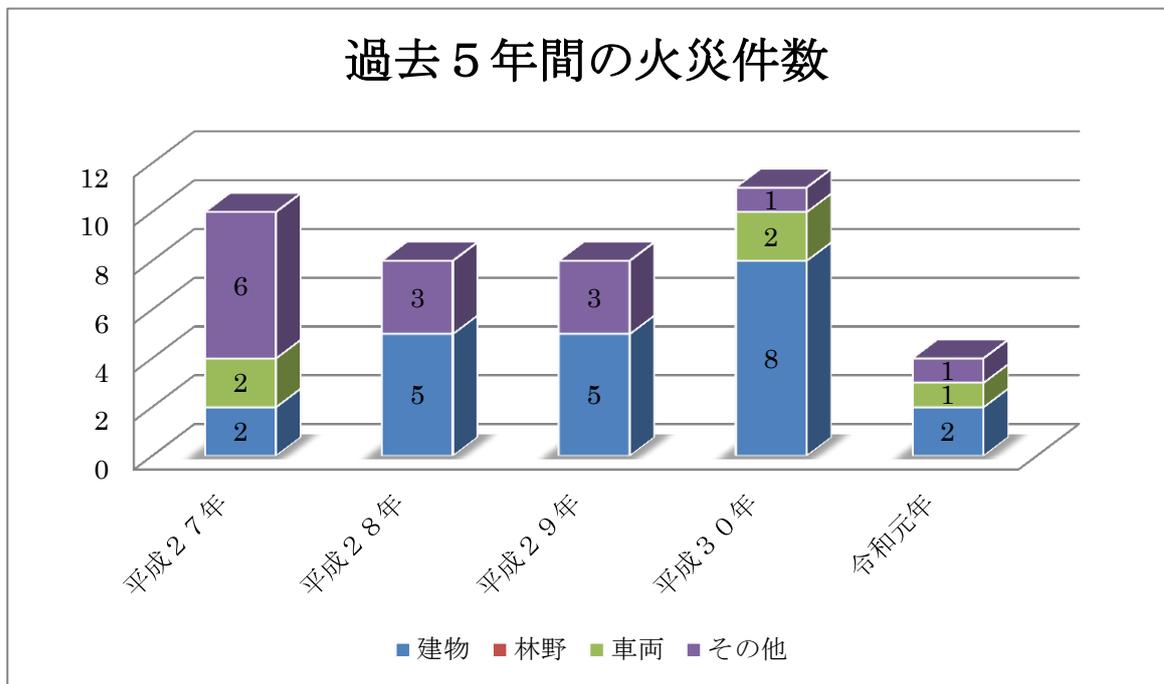
5 火災原因別の発生の状況

原因 \ 種別	放火 放火の疑い	たばこ	コンロ	ストーブ	電気機器 電気配線	火遊び	その他	合計
建物火災				1			1	2
林野火災								
車両火災					1			1
その他火災					1			1
合計				1	2		1	4

令和元年中

6 過去5年間の火災件数の推移

種別 年	発生件数					損害額 (千円)
	建物	林野	車両	その他	合計	
平成27年	2		2	6	10	162
平成28年	5			3	8	2,602
平成29年	5			3	8	11,206
平成30年	8		2	1	11	4,719
令和元年	2		1	1	4	13,453



7 月別、種別別の消防事故発生の状況

種別 月	燃焼放置	漏えい・流出	発報	無損	その他	合計
1月		2	2		1	5
2月		1		2		3
3月		1				1
4月					1	1
5月	1				1	2
6月		1		2		3
7月		2				2
8月			3	1		4
9月	1			1		2
10月	1		3	1	1	6
11月						
12月		1				1
合計	3	8	8	7	4	30

令和元年中

※「消防事故」：火災危険があったものの、火災事件として扱わない事案等をいう。

燃焼放置 枯草焼却等を放置し、火災拡大危険のおそれがあるもの。

漏えい・流出 ガス、ガソリン等が漏えい・流出し、災害危険があるもの。

発報 火災報知器が故障・いたずら等により作動したもの。

無損 火災として扱わない損害額のないもの。

救 急 編



1 救急の概要

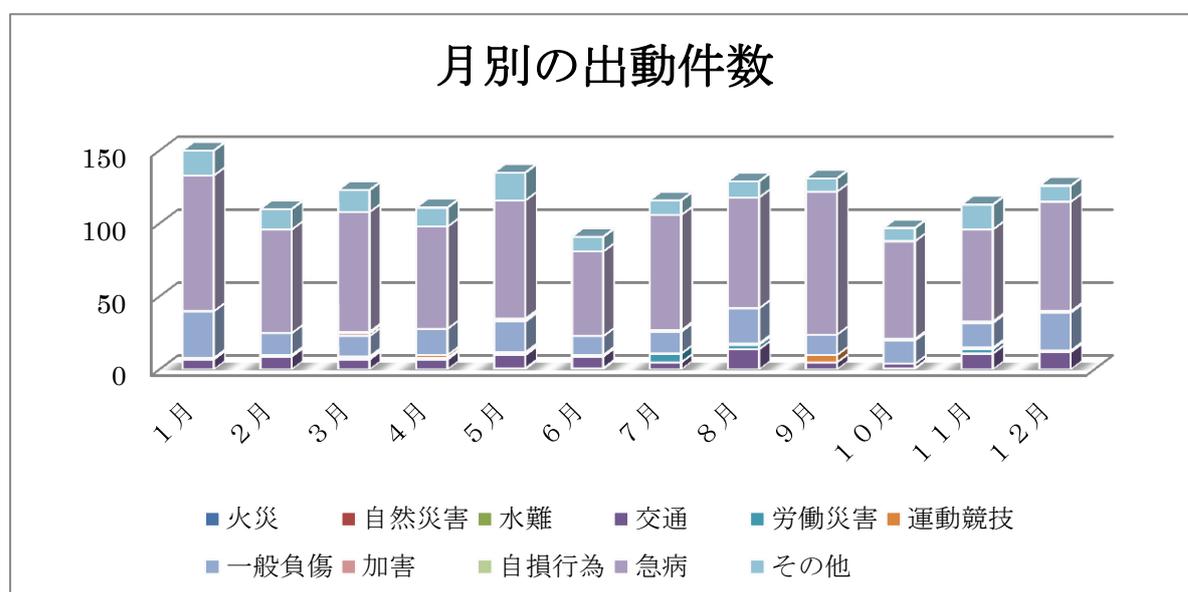
令和元年中に町内で発生した救急は1,432件であり、前年より16件減少し、微減となりました。

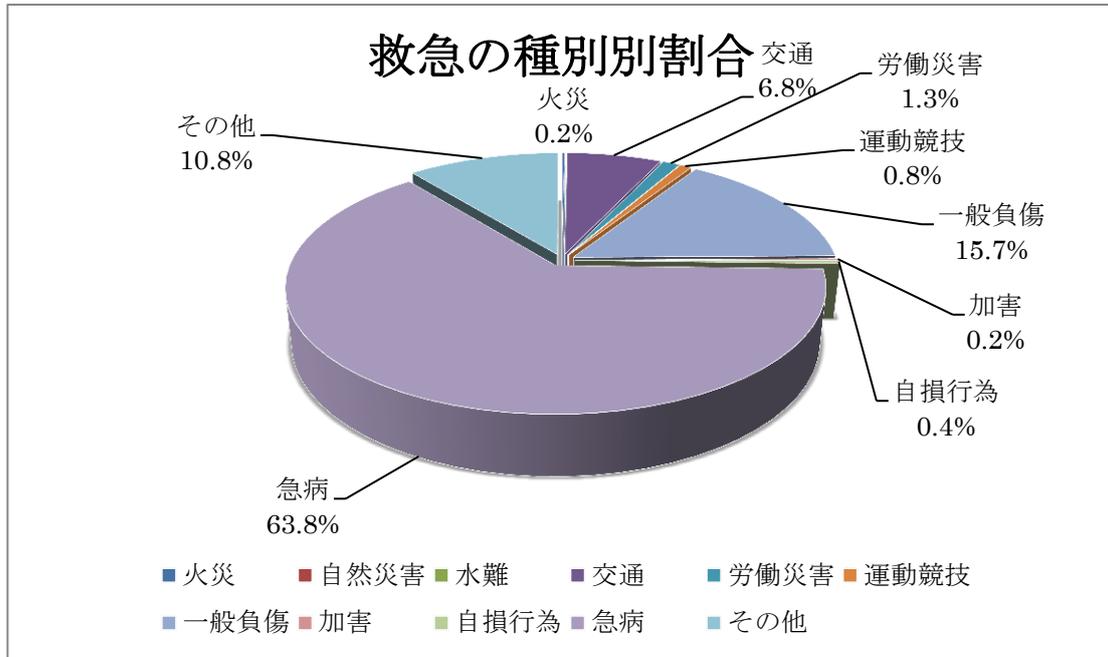
また、救急の内訳については、急病913件、一般負傷225件、その他155件が上位を占めています。

2 月別の救急出動の状況

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災					1	1				1			3
自然災害													
水難													
交通	7	9	7	7	9	8	5	14	5	3	11	12	97
労働災害	1		1	1	1	1	6	3			3	1	18
運動競技		1	1	2	1			1	5		1		12
一般負傷	32	15	14	18	21	13	15	24	14	16	17	26	225
加害			2		1								3
自損行為			1		1		1			1	1	1	6
急病	93	71	82	70	81	58	79	76	98	67	63	75	913
その他	17	14	15	13	19	10	10	11	9	9	17	11	155
合計	150	110	123	111	135	91	116	129	131	97	113	126	1,432
内、不搬送	6	5	3	8	5	4	3	3	4	4	3	3	51

令和元年中





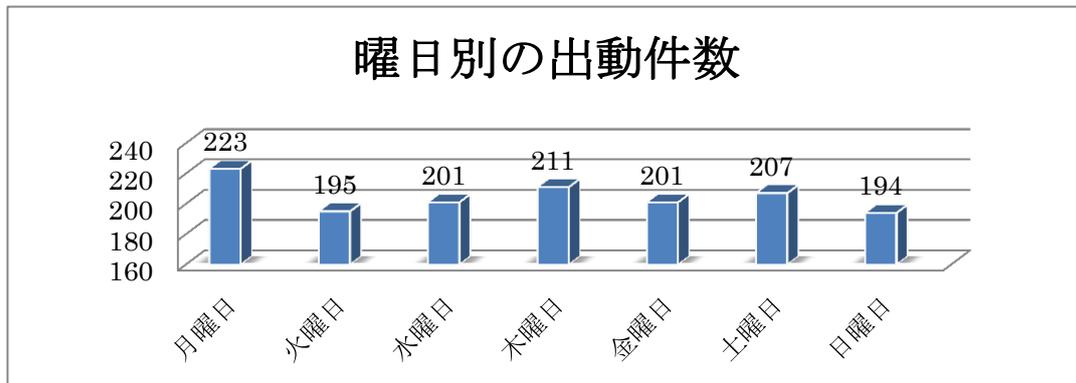
救急出動の月平均出動件数・一日平均出動件数

月平均出動件数 1 1 9 . 3 件 出動件数 1 , 4 3 2 件 / 1 2 ヶ月
 一日平均出動件数 3 . 9 件 出動件数 1 , 4 3 2 件 / 3 6 5 日

3 曜日別の救急出動の状況

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
件数	223	195	201	211	201	207	194	1,432

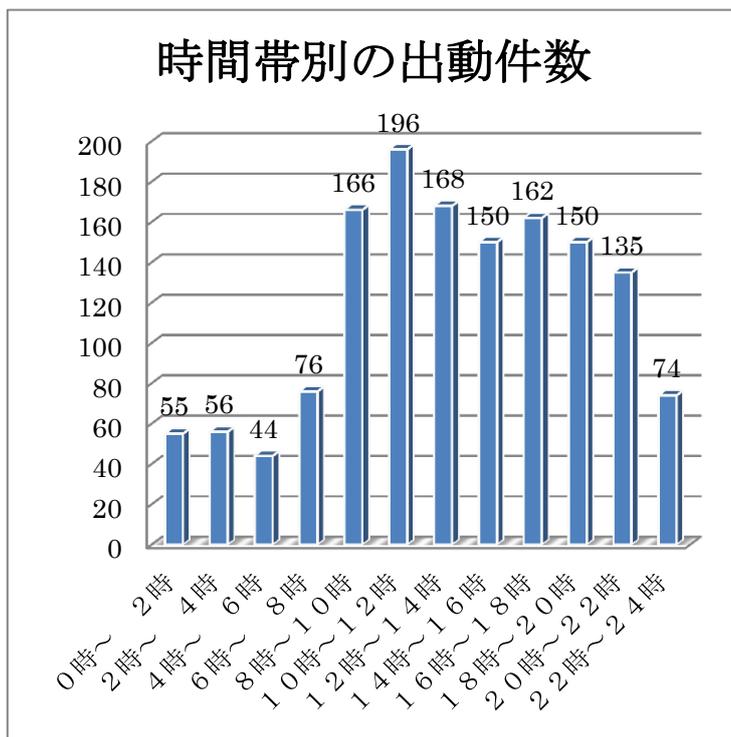
令和元年中



4 時間帯別の救急出動の状況

時間帯	件数
0時～ 2時	55
2時～ 4時	56
4時～ 6時	44
6時～ 8時	76
8時～ 10時	166
10時～ 12時	196
12時～ 14時	168
14時～ 16時	150
16時～ 18時	162
18時～ 20時	150
20時～ 22時	135
22時～ 24時	74
合計	1,432

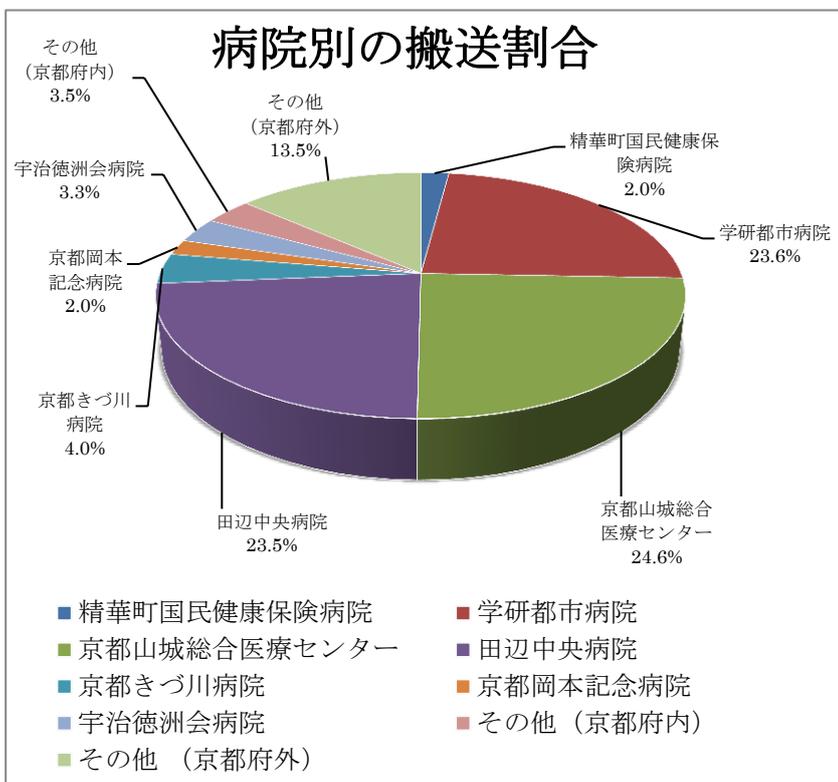
令和元年中



5 病院別の搬送人員の状況

病院名	人数
精華町国民健康保険病院	28
学研都市病院	326
京都山城総合医療センター	340
田辺中央病院	325
京都きづ川病院	55
京都岡本記念病院	28
宇治徳洲会病院	46
その他（京都府内）	48
その他（京都府外）	187
合計	1,383

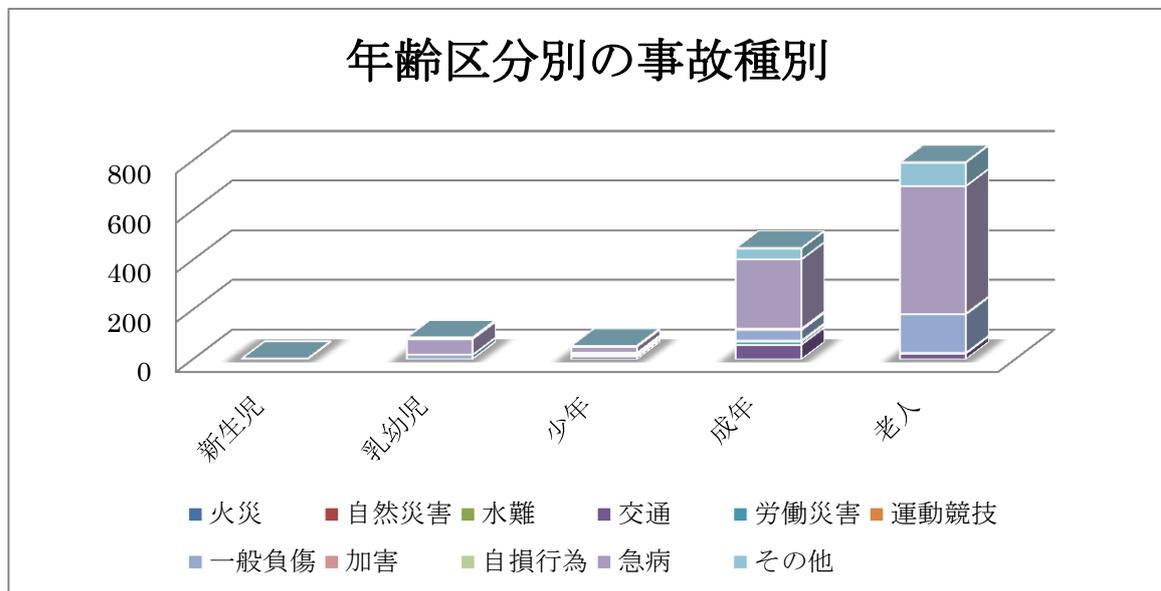
令和元年中



6 年齢区分別、事故種別別の救急搬送人員の状況

年齢区分 事故種別	新生児	乳幼児	少年	成年	老人	合計
火災						
自然災害						
水難						
交通		1	10	59	23	93
労働災害			1	12	2	15
運動競技			9	4		13
一般負傷		17	6	43	156	222
加害				2	1	3
自損行為			1	3	1	5
急病	1	64	24	279	514	882
その他	2	5	3	45	95	150
合計	3	87	54	447	792	1,383

令和元年中

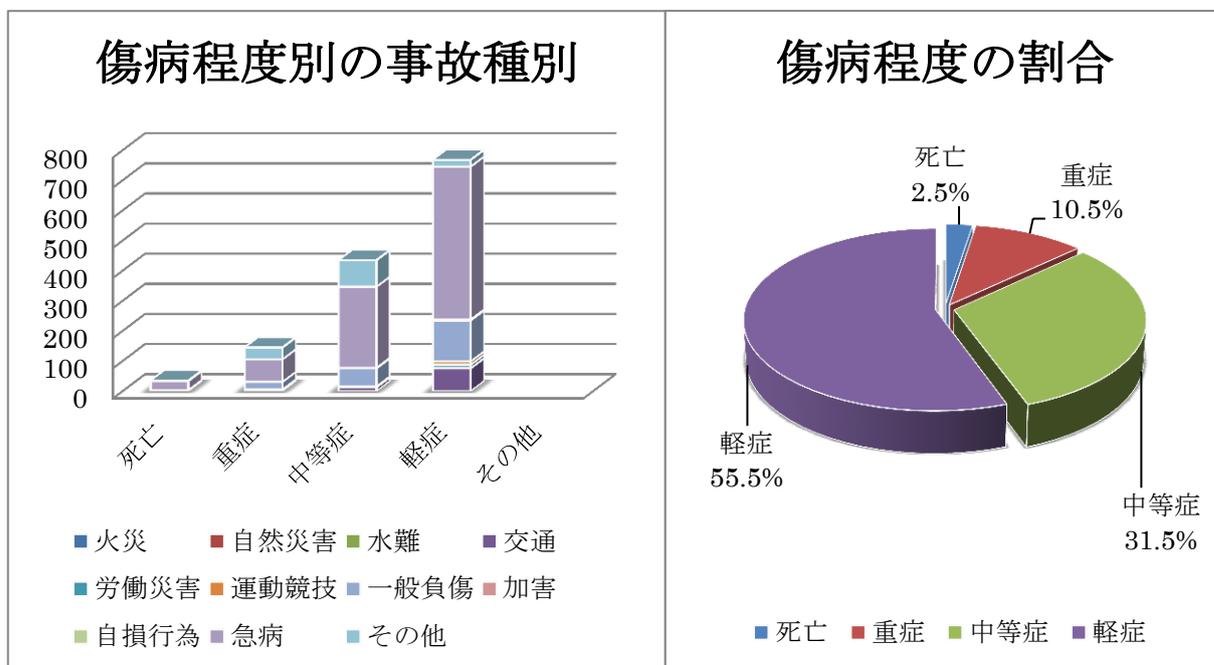


- ※ 新生児 生後28日未満の者
 乳幼児 生後28日以上、満7歳未満の者
 少年 満7歳以上、満18歳未満の者
 成年 満18歳以上、満65歳未満の者
 老人 満65歳以上の者

7 事故種別別、傷病程度別の救急搬送人員の状況

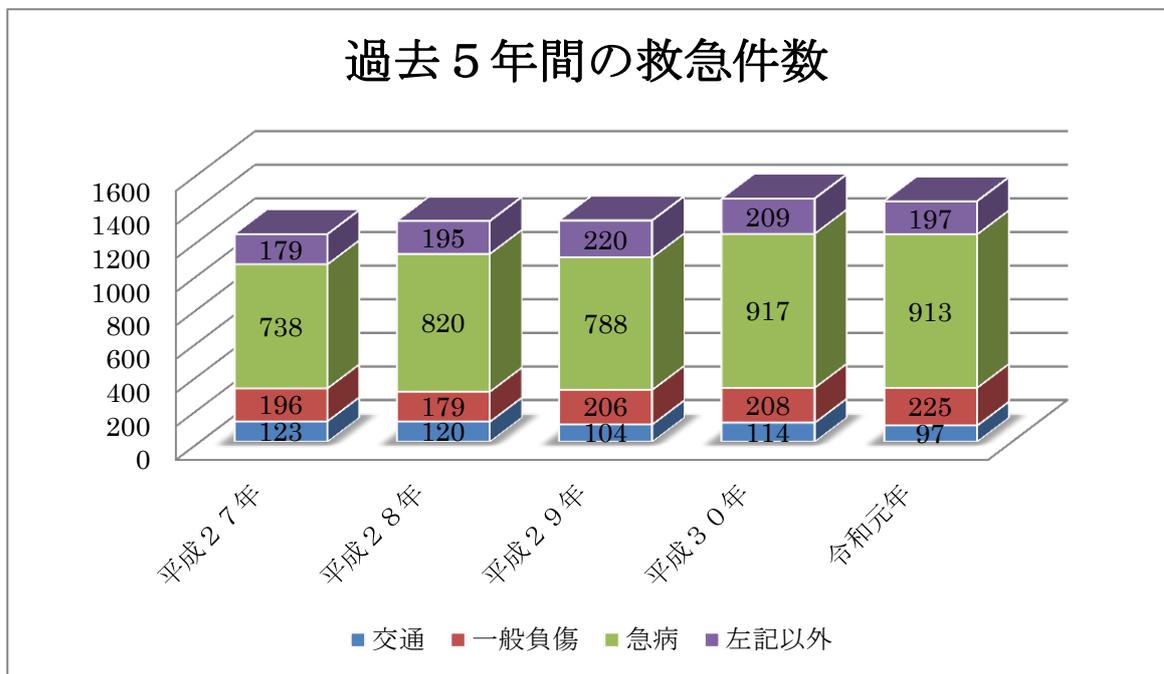
傷病程度 事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災						
自然災害						
水難						
交通		4	13	76		93
労働災害		2	1	12		15
運動競技			2	11		13
一般負傷	1	25	60	136		222
加害			1	2		3
自損行為	3		1	1		5
急病	30	75	269	508		882
その他	1	39	88	22		150
合計	35	145	435	768		1,383

令和元年中

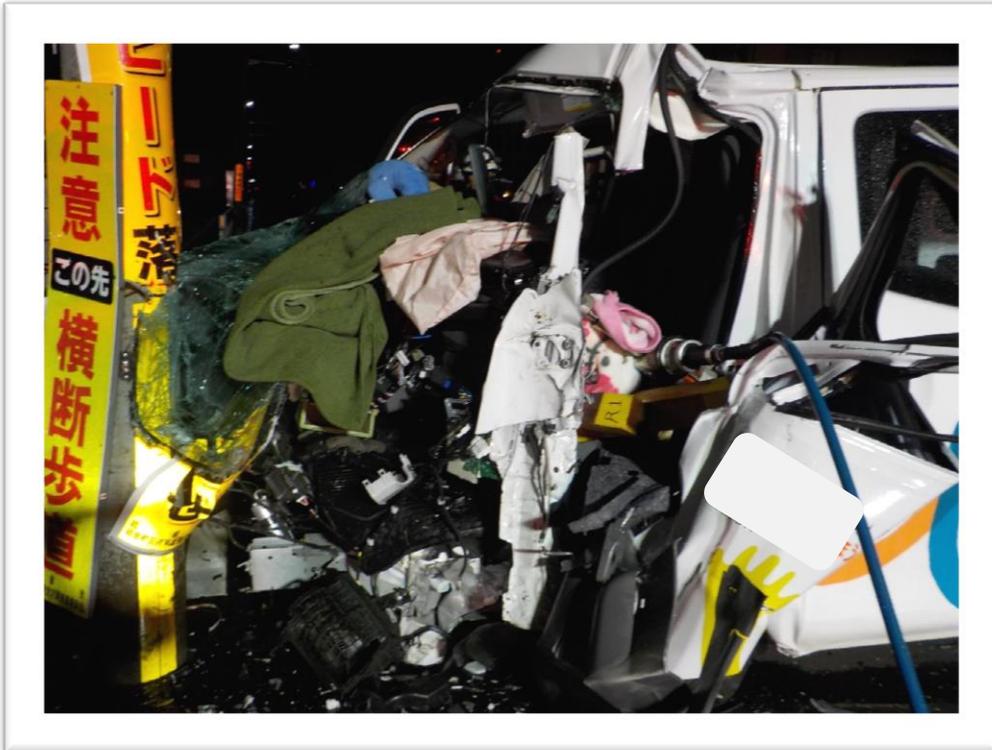


8 過去5年間の救急件数の推移

年	交通	一般負傷	急病	左記以外	合計
平成27年	123	196	738	179	1,236
平成28年	120	179	820	195	1,314
平成29年	104	206	788	220	1,318
平成30年	114	208	917	209	1,448
令和元年	97	225	913	197	1,432



救 助 編



1 救助の概要

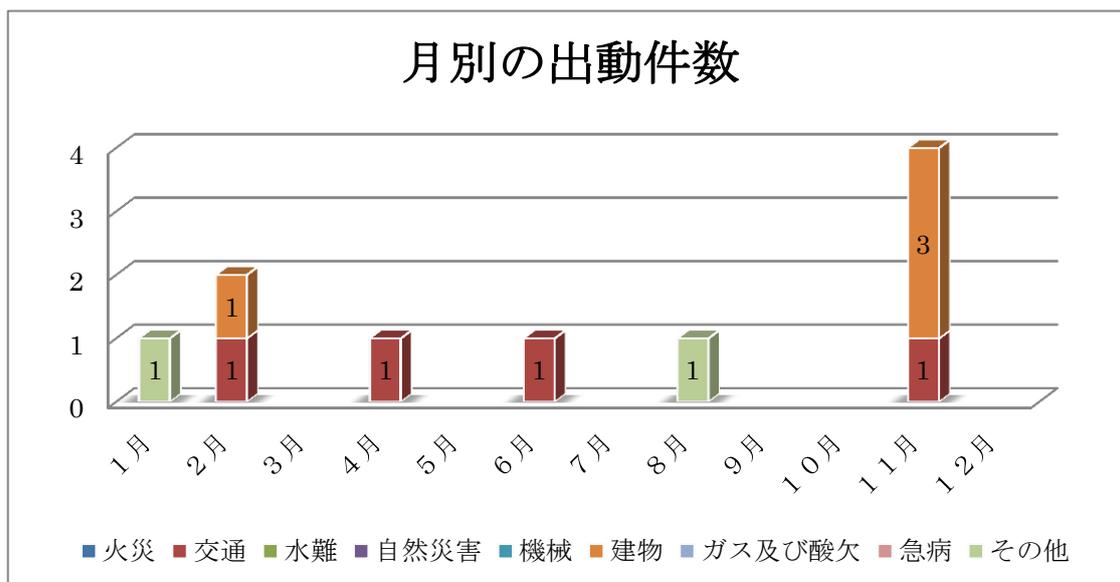
令和元年中に町内で発生した救助は10件であり、前年より8件減少し、大幅な減少となりました。

また、救助の内訳については、交通4件、建物4件、その他2件でした。

2 月別の救助出動の状況

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災													
交通		1		1		1					1		4
水難													
自然災害													
機械													
建物		1									3		4
ガス及び酸欠													
急病													
その他	1							1					2
合計	1	2		1		1		1			4		10

令和元年中



3 曜日別、覚知別の救助出動の状況

種別 曜日	専用電話 (固定電話)	専用電話 (携帯電話)	加入電話	事後聞知	駆け付け	その他	合計
月曜日		2					2
火曜日		1					1
水曜日							
木曜日		2	1				3
金曜日			1				1
土曜日		2	1				3
日曜日							
合計		7	3				10

令和元年中

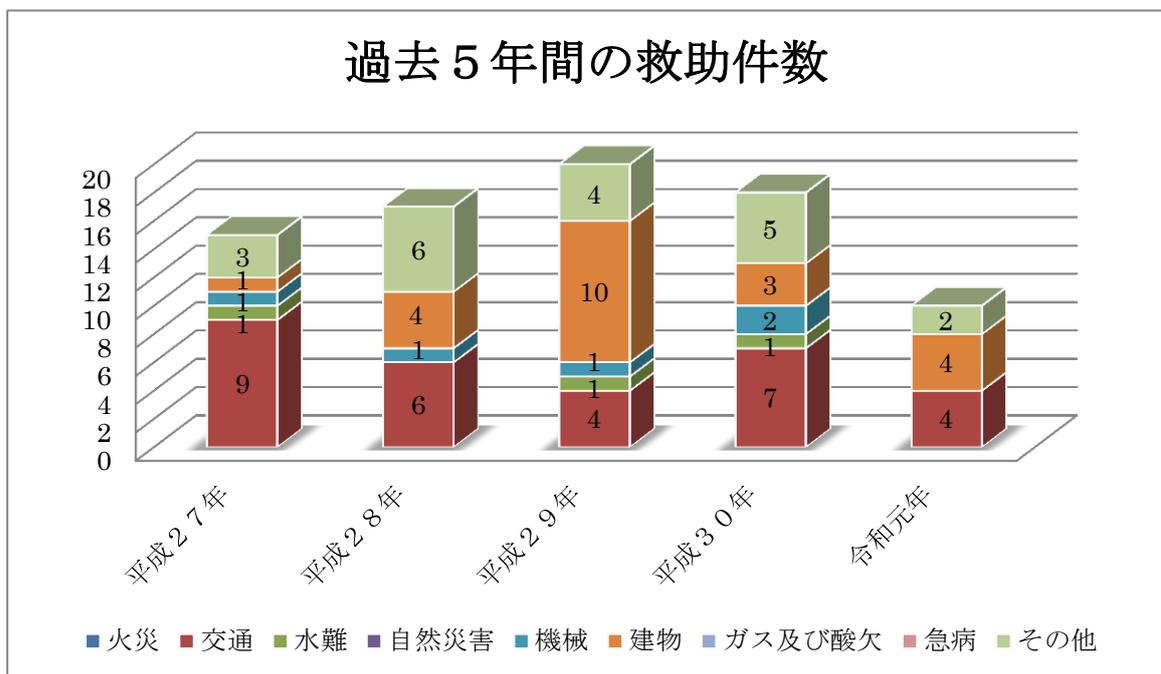
4 時間帯別、種別別の救助出動の状況

種別 時間帯	火災	交通	水難	自然 災害	機械	建物	ガス及 び酸欠	急病	その他	合計
0時～ 3時まで		1								1
3時～ 6時まで										
6時～ 9時まで						1				1
9時～12時まで		1							1	2
12時～15時まで										
15時～18時まで		1				2			1	4
18時～21時まで		1				1				2
21時～24時まで										
合計		4				4			2	10

令和元年中

5 過去5年間の救助件数の推移

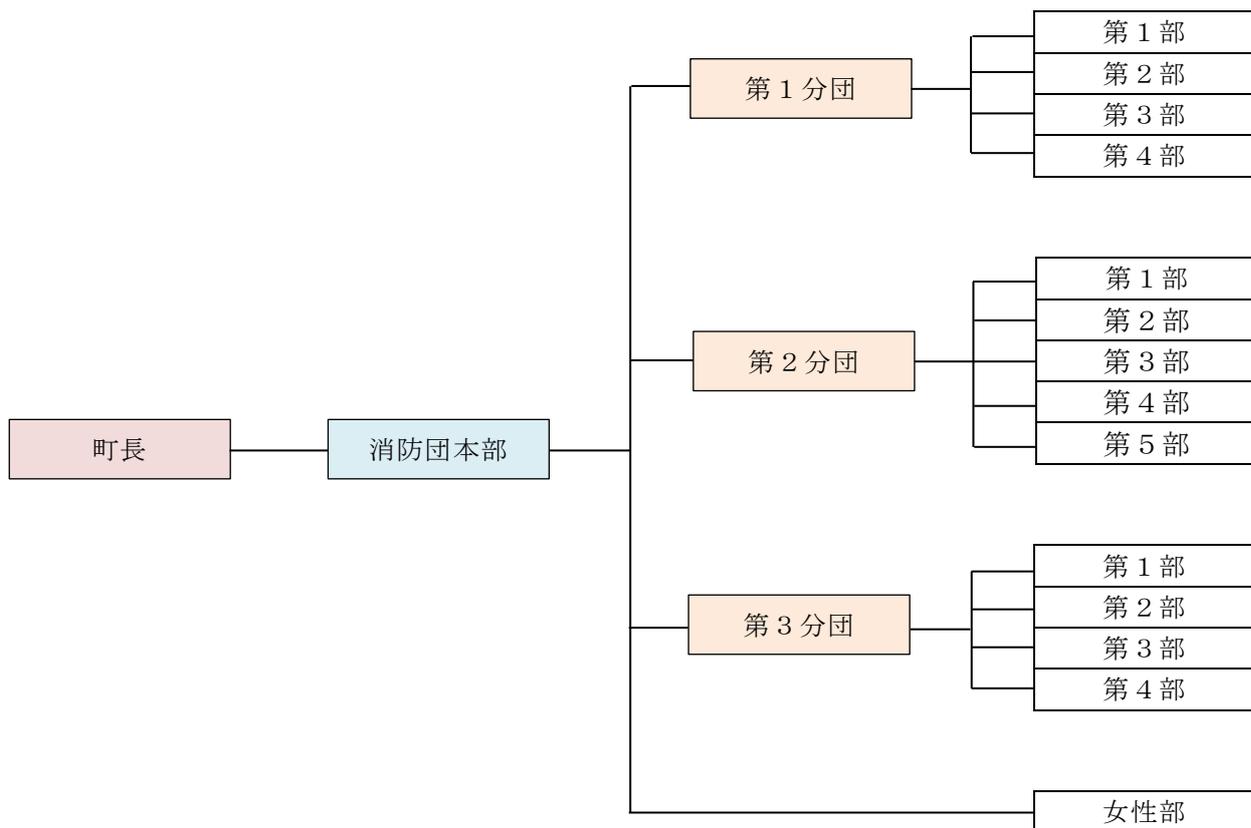
年	種別	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス及び酸欠	急病	その他	合計
平成27年			9	1		1	1			3	15
平成28年			6			1	4			6	17
平成29年			4	1		1	10			4	20
平成30年			7	1		2	3			5	18
令和元年			4				4			2	10



消防団編



1 消防団の組織及び機構



※「消防本部の組織及び機構」は、消防本部《総務編》に記載しています。

2 消防団の所轄区域

区分		所轄区域
第1分団	第1部	菱田・滝ノ鼻・中久保田
	第2部	舟・里
	第3部	北稲
	第4部	僧坊・谷・旭
第2分団	第1部	西北・東・中
	第2部	南・祝園西一丁目
	第3部	南稲・精華台四丁目・精華台五丁目・精華台九丁目
	第4部	植田・精華台一丁目・精華台二丁目・精華台三丁目・ 精華台六丁目・精華台七丁目・精華台八丁目
	第5部	菅井・馬淵・北ノ堂
第3分団	第1部	山田・桜が丘一丁目・桜が丘二丁目
	第2部	乾谷・桜が丘三丁目・桜が丘四丁目・光台二丁目・ 光台四丁目・光台五丁目・光台七丁目
	第3部	柘榴・光台六丁目・光台八丁目
	第4部	東畑・光台一丁目・光台三丁目・光台九丁目
女性部		精華町

3 消防団の状況

(1) 消防団員の定数と実員

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
定員	1	2	3	3	14	41	217	281
実員	1	2	3	3	14	41	187	251

令和2年4月1日現在

(2) 消防団員の配置の状況

階級 所属等	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部	1	2	3	3	—	—	—	9
第1分団	—	—	①	①	4	12	50	66②
第2分団	—	—	①	①	5	15	78	98②
第3分団	—	—	①	①	4	12	58	74②
女性部	—	—	—	—	1	2	1	4
合計	1	2	3③	3③	14	41	187	251⑥

注. ○数字は、団本部員と兼務を示す。

令和2年4月1日現在

(3) 消防団員の年齢の状況

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満							5	5
20歳～ 25歳未満						1	12	13
25歳～ 30歳未満					1	7	20	28
30歳～ 35歳未満					1	8	24	33
35歳～ 40歳未満					4	8	36	48
40歳～ 45歳未満				2	4	7	37	50
45歳～ 50歳未満			1	1	4	7	46	59
50歳～ 55歳未満		1				3	7	11
55歳以上	1	1	2					4
合計	1	2	3	3	14	41	187	251

令和2年4月1日現在

4 消防団の表彰暦

消防庁長官表彰

昭和55年 3月 5日	竿頭綬を授与される。
平成 5年 3月 3日	表彰旗を授与される。

日本消防協会長表彰

昭和54年 2月10日	表彰旗を授与される。
平成24年 2月23日	第64回日本消防協会定例表彰「特別表彰まとい」を授与される。

京都府知事表彰

昭和46年10月21日	竿頭綬を授与される。
昭和60年10月23日	表彰旗を授与される。
平成11年 1月28日	特別表彰旗を授与される。

京都府消防協会長表彰

昭和47年12月 1日	表彰旗を授与される。
平成14年 1月 1日	表彰旗を授与される。

操法大会関連（小型ポンプの部）

昭和51年 8月22日	第3回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
昭和53年 8月20日	第4回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
昭和55年 8月22日	第6回京都府消防協会操法大会準優勝。
昭和57年 8月31日	第7回京都府消防協会操法大会優勝。
昭和57年10月11日	第8回日本消防協会操法大会出場。
平成 4年 8月31日	第12回京都府消防協会操法大会5位入賞。
平成14年 7月28日	第14回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成15年 7月27日	第15回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成16年 7月25日	第16回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成18年 7月23日	第17回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成18年 8月 6日	第19回京都府消防操法大会奨励賞受賞。
平成22年 7月25日	第19回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成22年 8月 1日	第21回京都府消防操法大会4位入賞。
平成24年 7月29日	第20回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
平成24年 8月 5日	第22回京都府消防操法大会優勝。
平成26年 7月27日	第21回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成26年 8月 3日	第23回京都府消防操法大会優勝。
平成26年11月 7日	第24回全国消防操法大会出場。
平成28年 7月31日	第24回京都府消防操法大会準優勝。
平成30年 7月22日	第23回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
平成30年 8月 5日	第25回京都府消防操法大会準優勝。

5 消防機械の配置の状況（消防団）

部名	種別	メーカー (車種)	年式	排気量 (CC)	型式	備考	
団本部	指揮広報車	日産 (ブルーバード)	H11年	1,800		広報マイク設備	
	多機能車 <small>※総務省から無償貸付</small>	日産 (キャラバン)	H28年	2,480		救助資機材等積載	
		小型動力ポンプ (トーハツ)	H28年	617	B-2	縦型直列3気筒水冷4サイクル	
第1分団	第1部	積載車	トヨタ (ハイラックス)	H12年	2,980		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H12年	554	B-3	横形2気筒空冷2サイクル
	第2部	積載車	トヨタ (ハイラックス)	H13年	2,980		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H13年	554	B-3	横形2気筒空冷2サイクル
	第3部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H16年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H16年	554	B-3	横形2気筒空冷2サイクル
	第4部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H26年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H26年	617	B-2	横形2気筒空冷2サイクル
第2分団	第1部	積載車	トヨタ (ハイラックス)	H12年	2,980		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H12年	554	B-3	横形2気筒空冷2サイクル
	第2部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H16年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H16年	554	B-3	横形2気筒空冷2サイクル
	第3部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H20年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H20年	617	B-2	横形2気筒空冷2サイクル
	第4部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H24年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H24年	617	B-2	横形2気筒空冷2サイクル
	第5部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H27年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H27年	617	B-2	横形2気筒水冷2サイクル

第3分団	第1部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	R 1年	6 5 0		
		小型動力ポンプ	トーハツ	R 1年	6 1 7	B-2	横形2気筒空冷2サイクル
	第2部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H 2 0年	6 5 0		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H 2 0年	6 1 7	B-2	横形2気筒空冷2サイクル
	第3部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H 2 5年	6 5 0		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H 2 5年	6 1 7	B-2	横形2気筒空冷2サイクル
	第4部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H 2 8年	6 5 0		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H 2 8年	6 1 7	B-2	横形2気筒空冷2サイクル

令和2年4月1日現在

令和2年度 刊行

京都府相楽郡精華町大字北稻八間小字寄田長31番地

精 華 町 消 防 本 部

TEL 0774-94-5119 (代)

FAX 0774-94-5493

この印刷物が不要になれば、「その他のリサイクルできる紙」または「雑誌」として古紙回収に出してください。